Canon

レーザビームプリンタ

Satera

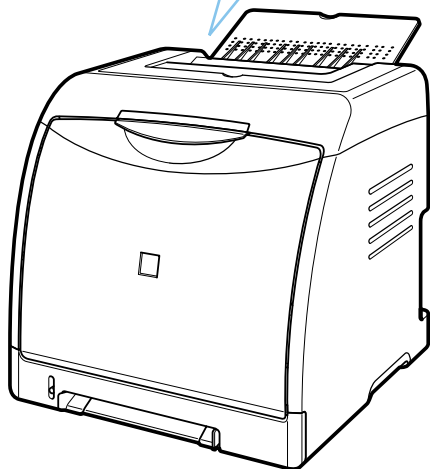
LBP5100

かんたん操作ガイド

かんたん操作ガイドについて

本書は簡単なプリンタの使いかたやトラブルの解決方法について紹介しています。
いつでもお読みになれるようにプリンタの近くに置いてご活用ください。

おことわり

本書にはプリンタを取り扱うための注意事項や制限事項は記載されていませんので、必ずCD-ROMに収められている取扱説明書もあわせてお読みください。

本書は、本文に100%の再生紙を使用しています。
本書は、揮発性有機化合物(VOC)ゼロのインキを使用しています。
リサイクルに配慮して製本されていますので、不要となった際は、回収リサイクルに出しましょう。

次ページに目的別検索を掲載しています。あわせてご覧ください。

どんなことで困ってますか？

ディスプレイにメッセージが表示されている

エラーランプが点灯／点滅している

どんなことが知りたいですか？

操作方法が知りたい

本プリンタについて知りたい

取扱説明書について

CD-ROM に収められている取扱説明書の概要

● Windows をお使いの場合

取扱説明書	概要
ユーザーズガイド	本プリンタを設置して印刷ができるようにするまでの準備のしかた、いろいろな機能を使用した印刷のしかた、日常のお手入れ、困ったときの対処のしかたなどを説明しています。
ネットワークガイド／本編	ネットワーク環境で印刷するための設定やプリンタを管理する方法について説明しています。
リモート UI ガイド	Web ブラウザからプリンタを操作・設定する方法について説明しています。

● Macintosh をお使いの場合 *

取扱説明書	概要
ユーザーズガイド	本プリンタを設置して印刷ができるようにするまでの準備のしかた、日常のお手入れ、困ったときの対処のしかたなどを説明しています。
ネットワークガイド／本編	ネットワーク環境で印刷するための設定やプリンタを管理する方法について説明しています。
リモート UI ガイド	Web ブラウザからプリンタを操作・設定する方法について説明しています。
オンラインマニュアル	Macintosh に本プリンタを接続して使用するときの印刷のしかた、困ったときの対処のしかたなどを説明しています。

* 付属の CD-ROM によっては、Macintosh の取扱説明書が同梱されていない場合があります。付属の CD-ROM に、Macintosh の取扱説明書が同梱されていない場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。

Point

PDF 取扱説明書をご覧になるには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

取扱説明書を表示する

Point

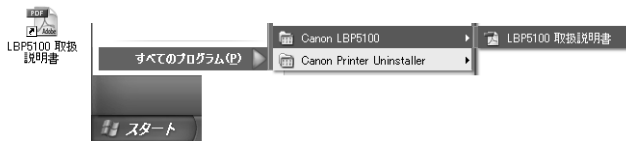
- Macintoshの取扱説明書は、付属の CD-ROM 内の以下のフォルダに収められています。

取扱説明書	ファイル名	付属のCD-ROM内のフォルダ
オンラインマニュアル	GUIDE-CAPT-x.xxJP.pdf*	[CAPT] - [Japanese] - [Documents]
ユーザーズガイド	ユーザーズガイド.pdf	[Manuals]
ネットワークガイド／本編	ネットワークガイド/本編.pdf	[Manuals]
リモートUIガイド	リモートUIガイド.pdf	[Manuals]

*「x.xx」はお使いのプリンタドライバのバージョンによって異なります。

- 付属のCD-ROM によっては、Macintosh 用のオンラインマニュアルが同梱されていない場合があります。付属の CD-ROM に、Macintosh 用のオンラインマニュアルが同梱されていない場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。

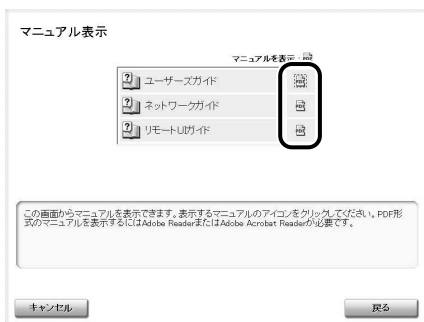
コンピュータにインストールした取扱説明書を表示する場合

取扱説明書をインストールしたときにデスクトップに作成された以下のショートカットアイコンをダブルクリックするか、[スタート] メニューの [すべてのプログラム]（Windows 98/Me/2000 の場合は [プログラム]）に追加された [Canon LBP5100] - [LBP5100 取扱説明書] を選択すると、[LBP5100 取扱説明書] が表示されます。[ユーザーズガイド]、[ネットワークガイド／本編]、[リモート UI ガイド] のいずれかをクリックすると、取扱説明書が表示されます。

CD-ROM Setup から取扱説明書を表示する場合

プリンタに付属の CD-ROM から取扱説明書を表示させます。

1 付属の CD-ROM「LBP5100 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

2 [マニュアル表示] をクリックします。

3 表示したいガイド名の横にある [PDF] をクリックします。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows ServerTM 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system：	Windows

本書では、日本郵政公社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、Macintosh、Mac OS、TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

●著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

●通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

●公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

・公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
・私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
・役所または公務員の印影、署名または記号
・私人の印影または署名

関係法律		
	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 印紙等模造取締法

プリンタの操作

Chapter

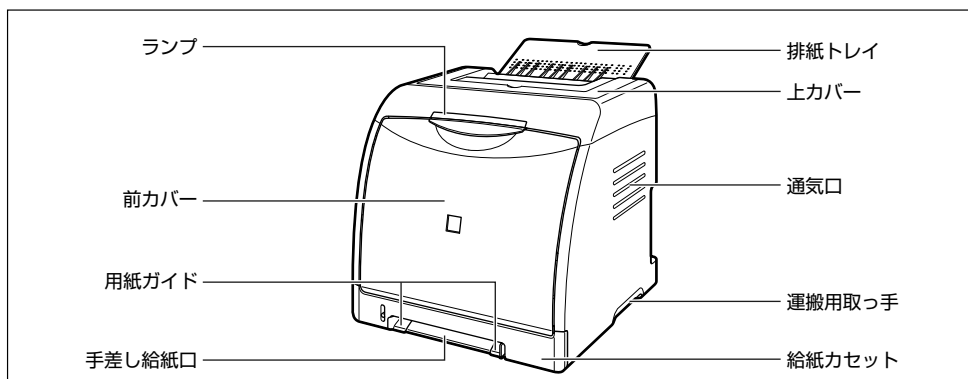
1

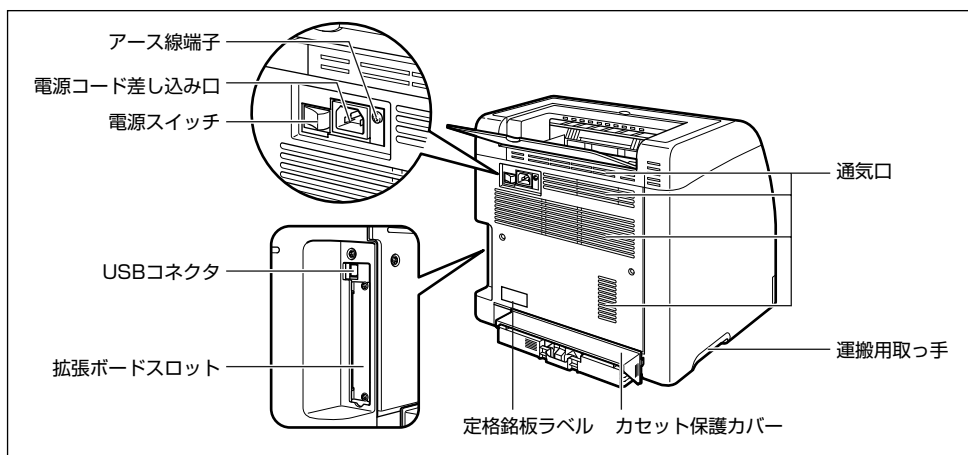
各部の名称

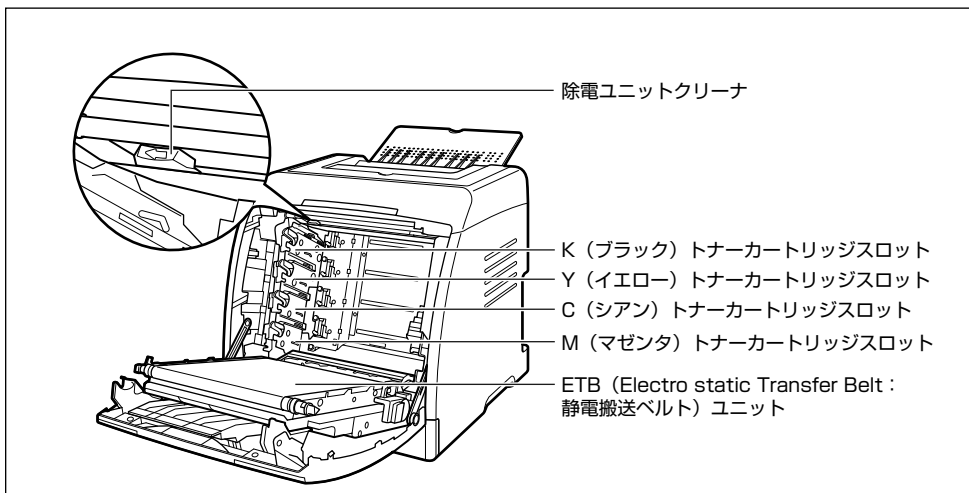
本体

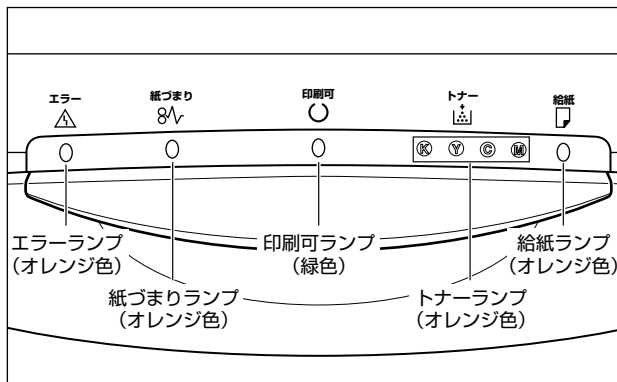
プリンタ本体の各部の名称を説明しています。

前面

前面の各部の名称を説明しています。

背面

背面の各部の名称を説明しています。

プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称を説明しています。

ランプ

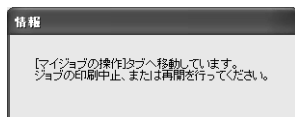
本プリンタの上部には下図のようなランプがあり、このランプで本プリンタの状態を知ることができます。

印刷を中止／一時停止／再開する

本プリンタでは、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）を使って印刷を中止（印刷するジョブやデータの削除）、一時停止、再開することができます。
ここでは Windows を例にしています。Macintosh の場合については、オンラインマニュアル「第 3 章基本的な印刷機能」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→ P.1-7）を参照してください。

2 印刷の中止や一時停止をする場合は、［印刷中ジョブ］タブもしくは［マイジョブの操作］タブの［一時停止］ボタンをクリックします。

［印刷中ジョブ］タブの［一時停止］ボタンをクリックすると、以下のメッセージが表示され、［マイジョブの操作］タブに移動します。

3 ［ジョブ操作］ボタンで行いたい操作のボタンをクリックします。

● **印刷を中止する**

［ ］（印刷中止）をクリックします。

● **印刷を一時停止する**

［ ］（一時停止）をクリックします。

● **印刷を再開する**

［ ］（再開）をクリックします。

Point

他のユーザのジョブを操作することはできません。詳しくは、ユーザーズガイド「第 4 章 Windows の印刷環境を設定するには」を参照してください。

プリンタステータスウィンドウについて

プリンタステータスウィンドウは、LBP5100 プリンタのステータス（操作状況、ジョブ情報など）を、メッセージ、アニメーション、音（サウンド）、アイコンなどで表示します。

プリンタステータスウィンドウでは以下のことを行うことができます。プリンタに何らかの異常を感じたら、プリンタステータスウィンドウを確認してください。

- プリンタにエラーが起こったときや印刷されないときにエラーの内容や処置を確認できる（→P.3-10）
- ジョブの削除や一時停止ができる（→ P.1-4）
- トナーの残量を確認できる（→ユーザーズガイド「第 5 章 Windows から印刷するには」）
- カセット用紙サイズを登録することがきる（→ P.2-5）
- 印刷しているジョブの情報（ユーザ名やドキュメント名など）が確認できる

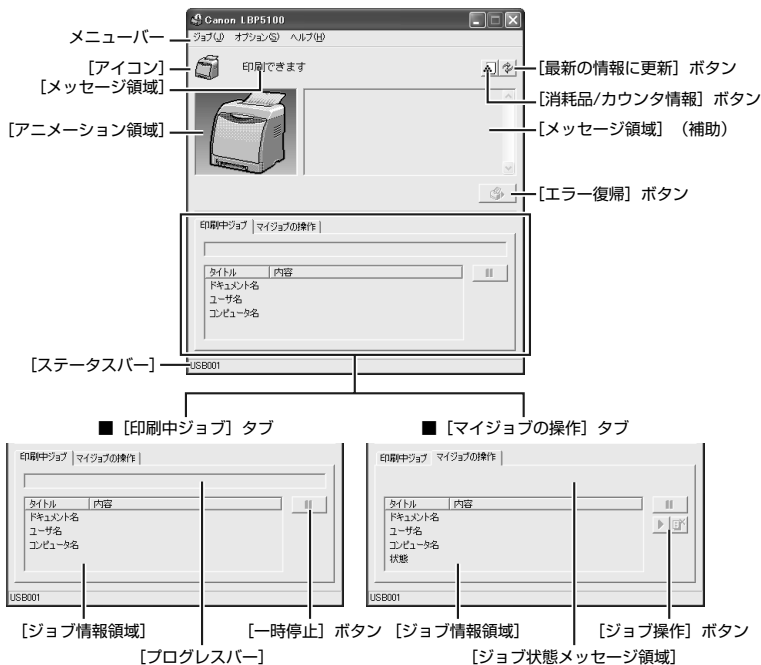
Point

Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル 第 4 章「ステータスモニタを利用する」を参照してください。

プリンタステータスウィンドウの各部の名称と機能

プリンタステータスウィンドウの機能は、Windows 98/Me と Windows 2000/XP/Server 2003 で共通です。

各操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプの表示方法は、ユーザーズガイド「第 5 章 Windows から印刷するには」を参照してください。

取扱説明書について
規制について
第1章 プリンタの操作
第2章 メンテナンス
第3章 トラブルの対処法
第4章 オプションの設置
第5章 お役立ち情報

■ メニューバー

［ジョブ］メニュー	印刷の一時停止／再開／中止を実行します。また、印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、［エラー復帰］を選択すると、ジョブを再開することができます。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。
［オプション］メニュー	プリンタステータスウィンドウの環境の設定やプリンタのキャリブレーションなどを行います。
［ヘルプ］メニュー	知りたい項目をキーワードを用いて検索したり、プリンタステータスウィンドウの［バージョン情報］を表示します。

■ その他の機能

［アイコン］	プリンタの状態を表示します。
［メッセージ領域］	プリンタの状態を短文で表示します。
［メッセージ領域］（補助）	エラーが起きたときなど、補助情報を文字で表示します。
［アニメーション領域］	プリンタの状況をグラフィックで表示します。背景色は、通常は青、何らかの操作が必要な場合はオレンジ、警告時は赤に変化します。
［消耗品 / カウンタ情報］ボタン	［消耗品 / カウンタ情報］ダイアログボックスを表示します。各色のトナーカートリッジの寿命を示すアイコンとメッセージが表示されます。印刷した総ページ数も表示されます。
［最新の情報に更新］ボタン	プリンタのステータスを取得し、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。
［エラー復帰］ボタン	印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、ジョブを再開することができます。
［印刷中ジョブ］タブ	［プログレスバー］： 印刷中ジョブの進行状況を、ページ数や背景色の変化で表します。 ［一時停止］ボタン： ジョブを一時的に停止します。 ［ジョブ情報領域］： ジョブに関する情報を表示します。
［マイジョブの操作］タブ	［ジョブ状態メッセージ領域］： ジョブの状態を表すメッセージが表示されます。 ［ジョブ操作］ボタン： 印刷の一時停止／再開／中止を実行します。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。 ［ジョブ情報領域］： ジョブに関する情報を表示します。
［ステータスバー］	プリンタの接続先を表示します。 メニュー操作中は、メニュー操作の説明が表示されます。

プリンタステータスウィンドウの表示方法

プリンタステータスウィンドウの表示のしかたは、次の２通りあります。

• ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの［ページ設定］ページなどにある［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックして起動します。

• ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［デバイスの設定］ページにある［タスクバーにアイコンを表示する］にチェックマークを付けます。Windows のタスクバーにプリンタステータスウィンドウのアイコンが表示されますので、そのアイコンをクリックし、プリンタ名をクリックして起動します。

メンテナンス

用紙について

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能です。

用紙の種類	給紙元		
	手差し給紙口	カセット１	カセット２（オプション）
A4	◎	◎	◎
B5	○	○	○
A5	○	○	○
リーガル	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎
エグゼクティブ	○	○	○
ユーザ定義用紙	○	○	○
はがき 100.0mm × 148.0mm	○	○	○
往復はがき 148.0mm × 200.0mm	○	○	○
４面はがき 200.0mm × 296.0mm	○	○*	○*
封筒 洋形４号 105.0mm × 235.0mm	○	○	○
洋形２号 114.0mm × 162.0mm	○	○	○

*　キヤノン推奨４面はがきのみセットできます。郵便４面はがきはセットできません。

Check!

- 印刷速度は、用紙サイズ、用紙タイプ、印刷枚数の設定により遅くなることがあります。厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙、はがき、封筒を印刷する場合は、約２ページ／分まで遅くなります。
- 幅が 195.0mm 以下の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的に約２ページ／分まで遅くなることもあります。）

使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

●紙づまりを起こしやすい用紙

- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 不規則な形の用紙
- 湿っている用紙、濡れている用紙
- 破れている用紙
- 表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
- バインダ用の穴やミシン目のある用紙
- カールした用紙や折り目のある用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 裏紙が簡単にはがれてしまうラベル紙
- 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
- バリのある用紙
- しわのある用紙
- 角折れのある用紙

●高温によって変質する用紙

- 定着器の加熱温度（約 180 ℃）以下で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
- 感熱用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 糊などがついた用紙

●プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙

- カーボン紙
- ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）

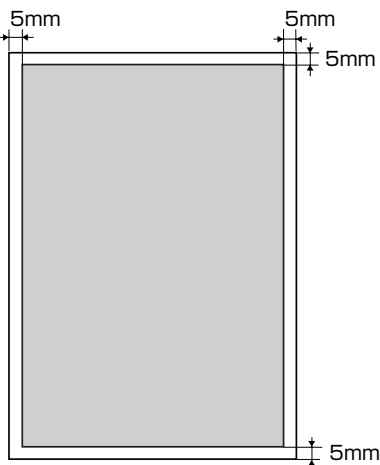
●トナーが定着しにくい用紙

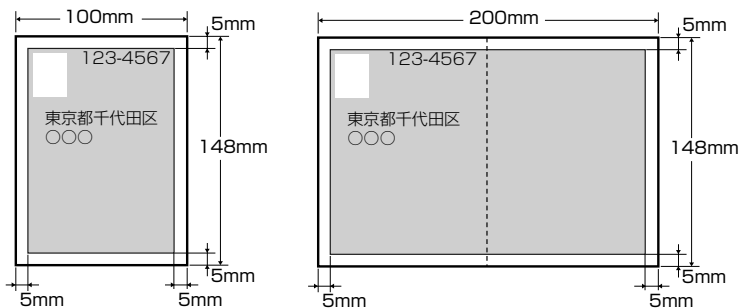
- ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
- 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
- 繊維の粗い用紙

印刷できる範囲

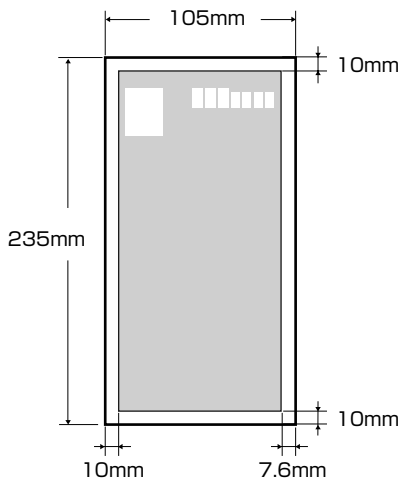
本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。プリンタドライバの［仕上げ詳細］ダイアログボックスで［用紙の左上を原点として印字する］にチェックマークを付けた場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、最適な印字品質が得られない場合があります。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

●普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル紙

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

●はがき / 往復はがき /4 面はがき

はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

●封筒

以下の範囲に印刷できます。
お使いのアプリケーションによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）

Point

はがきまたは封筒の有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印字品質が得られない場合があります。データをはがきまたは封筒の有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

給紙カセットに用紙をセットして印刷する

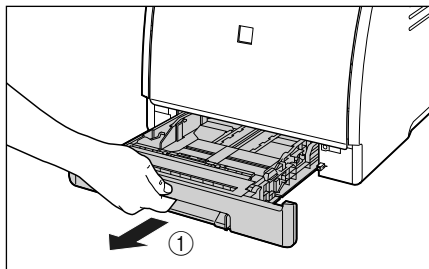
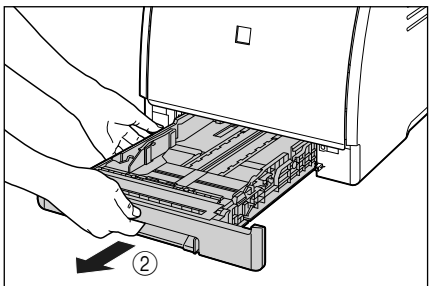
ここでは、カセット１（標準の給紙カセット）の用紙のセット方法を例に説明しています。カセット２（オプションのペーパーフィーダ装着時）の用紙のセット方法は、カセット１と同じです。

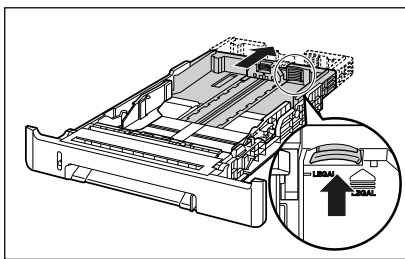
給紙カセットには、以下の用紙をセットすることができます。

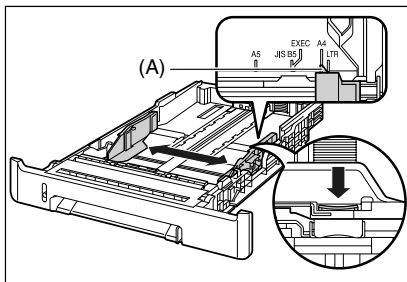
用紙のタイプ	用紙のサイズ	積載枚数
普通紙（60 ～ 90g/m^2）	・ 定形サイズ A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ ・ はがきサイズ はがき（100.0mm × 148.0mm） 往復はがき（148.0mm × 200.0mm） ４面はがき（200.0mm × 296.0mm） ・ ユーザ定義用紙 *	約 250 枚（64g/m^2 の場合）
厚紙（90 ～ 163g/m^2）		約 170 枚（128g/m^2 の場合）
OHP フィルム（モノクロ印刷時のみ使用可能）	A4、レター	約 50 枚
ラベル用紙	A4、レター	約 100 枚
はがき	郵便はがき（100.0mm × 148.0mm） 郵便往復はがき（148.0mm × 200.0mm）	約 15 枚
	キヤノン推奨　４　面はがき（200.0mm　× 296.0mm）	約 170 枚
封筒	洋形４号（105.0mm × 235.0mm） 洋形２号（114.0mm × 162.0mm）	約 10 枚

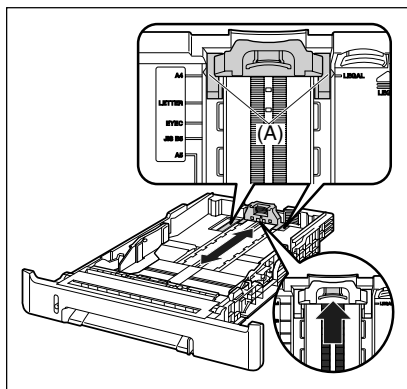
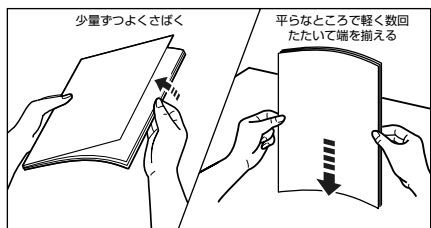
*　ユーザ定義用紙については、「ユーザ定義用紙（不定形用紙）に印刷する」（→ P.2-16）を参照してください

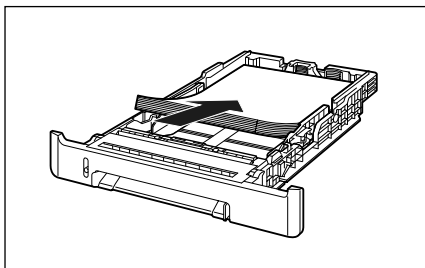
1 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットをゆっくりと引き出します①。

図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します②。

2 セットする用紙のサイズを変更するときは、給紙カセットの長さと用紙ガイドの位置を変更します。

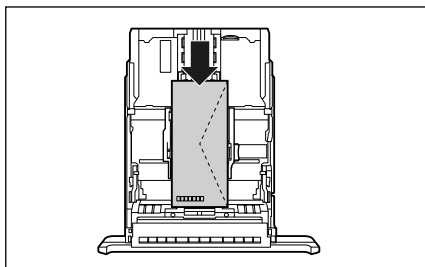
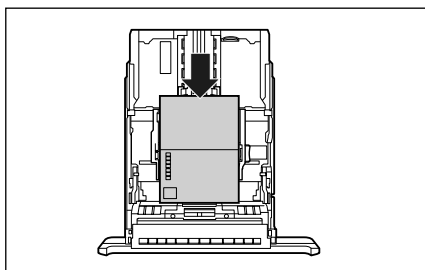
a リーガルサイズの用紙をセットする場合は、図の位置にあるロック解除レバーをつまみながら、給紙カセットの長さを調節します。

b 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

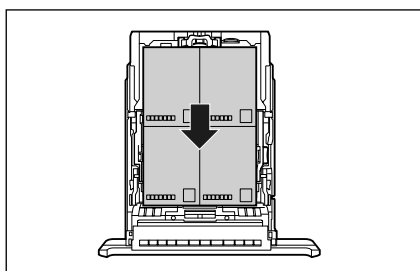
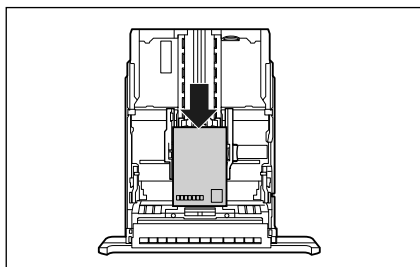
側面の用紙ガイドは左右が連動しています。(A)の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

c 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

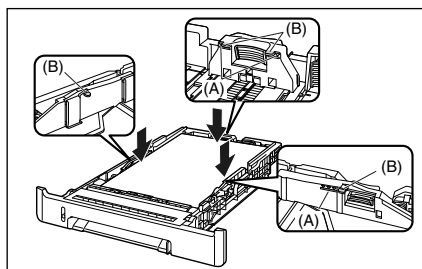
(A)の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

3 OHPフィルムやラベル用紙、コート紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

4 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

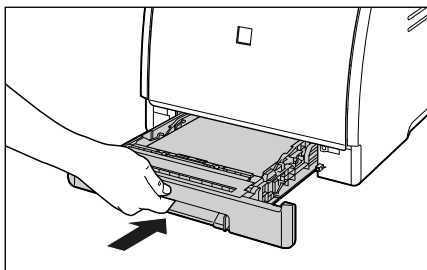
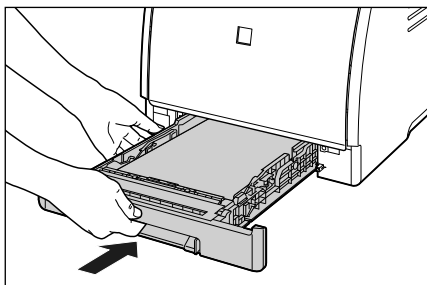
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→P.2-23）を参照してください。

Point

封筒、はがきの場合は以下のようにセットします。

・封筒　洋形４号／洋形２号
ふたがプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

・はがき／４面はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て手前側になるようにセットします。

・往復はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

5 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。

6 給紙カセットをプリンタにセットします。

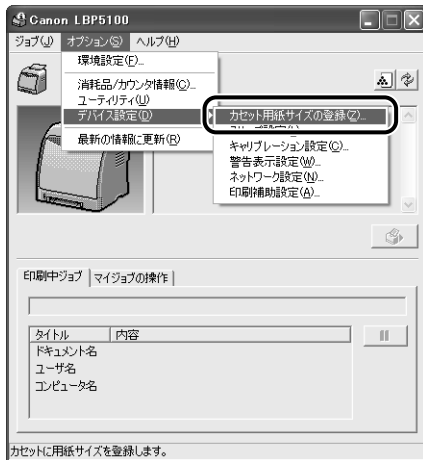
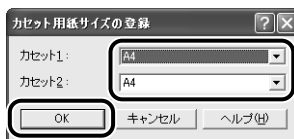
給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

7 以降の手順でセットした用紙サイズの登録を行います。

本プリンタの給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、プリンタステータスウィンドウでセットした用紙サイズを登録する必要があります。

- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

8 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」(→ P.1-7)を参照してください。

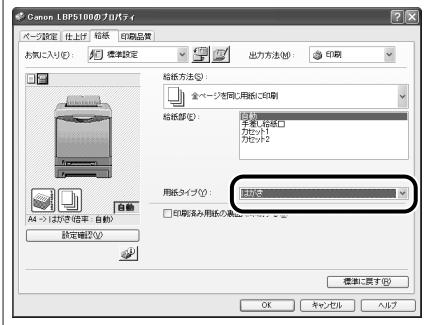
9 [オプション] メニューから [デバイス設定] → [カセット用紙サイズの登録] を選択します。

10 給紙カセットにセットした用紙サイズを選択し、[OK] をクリックします。

11 以降の手順で、プリンタドライバの設定を行います。

12 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

Point

アプリケーションソフトで用紙サイズを［はがき］や［ハガキ］に設定しても、プリンタドライバの用紙タイプは［はがき］に設定されません（アプリケーションソフトの用紙サイズの設定は、通常［ファイル］メニューの［ページ設定］や［印刷設定］で行います）。
例）Adobe Reader 7.0（［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します）

ここで［はがき］を選択しても、用紙タイプは［はがき］には設定されません。

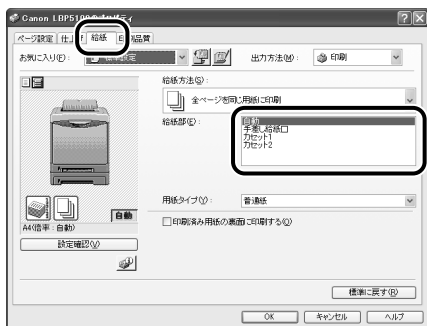
郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがきに印刷する場合は、必ずプリンタドライバの［給紙］ページの［用紙タイプ］を［はがき］に設定してください。

13 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

14 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

［原稿サイズ］と給紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

15 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］で使用するカセットを選択します。

［給紙方法］を［全ページを同じ用紙に印刷］以外に設定している場合は、［給紙部］の設定が［最初のページ］や［その他のページ］などに変わりますが、［給紙部］の設定と同様に設定します。

Point

厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙を給紙カセットから印刷する場合は、［給紙部］で［カセット 1］または［カセット 2］を選択してください。［自動］を選択すると、給紙カセットからは給紙できません。

16 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

［用紙タイプ］に応じて、次のように設定してください。

普通紙	60～74g/m^2	［普通紙 L］
	75～90g/m^2	［普通紙］
厚紙	91～120g/m^2	［厚紙 1］
	121～163g/m^2	［厚紙 2］
OHP フィルム		［OHP フィルム］
ラベル用紙		［ラベル用紙］
はがき		［はがき］
封筒		*

* 封筒の場合は、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］を設定すると自動的に封筒に適した印刷モードで印刷されます。
［用紙タイプ］を［封筒］に設定して印刷した結果、封筒のふたが貼り付いてしまう場合は、［用紙タイプ］を［封筒 L］に設定してください。

17 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

18 [OK] をクリックして、印刷を実行します。

手差し給紙口に用紙をセットして印刷する

手差し給紙口には、以下の用紙をセットすることができます。

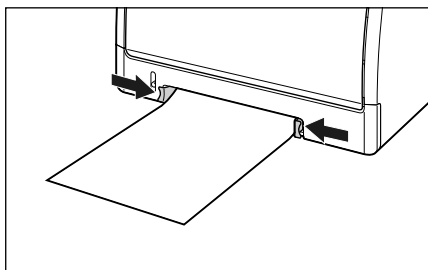
用紙のタイプ	用紙のサイズ	積載枚数
普通紙（60 ～ 90g/m^2）	· 定形サイズ A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ · はがきサイズ はがき（100.0mm × 148.0mm） 往復はがき（148.0mm × 200.0mm） ４面はがき（200.0mm × 296.0mm） · ユーザ定義用紙 *	1 枚
厚紙（90 ～ 163g/m^2）		1 枚
OHP フィルム （モノクロ印刷時のみ使用可能）	A4、レター	1 枚
ラベル用紙	A4、レター	1 枚
はがき	郵便はがき（100.0mm × 148.0mm） 郵便往復はがき（148.0mm × 200.0mm） 郵便４面はがき（200.0mm × 296.0mm） 郵便キヤノン推奨４面はがき（200.0mm × 296.0mm）	1 枚
封筒	洋形４号（105.0mm × 235.0mm） 洋形２号（114.0mm × 162.0mm）	1 枚

* ユーザ定義用紙については、「ユーザ定義用紙（不定形用紙）に印刷する」（→ P.2-16）を参照してください

● 紙の厚さについて
紙の厚さは、1m^2* あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。
*1m^2 = A4 サイズ 16 枚分

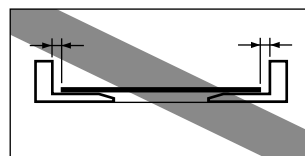
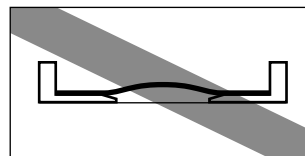
1 図のように用紙ガイドをセットする用紙の幅に合わせて移動します。

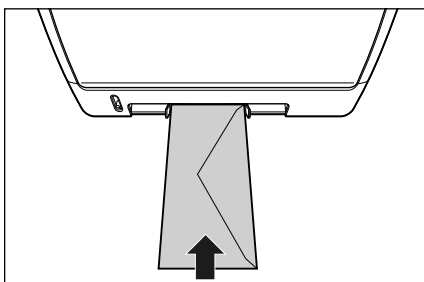
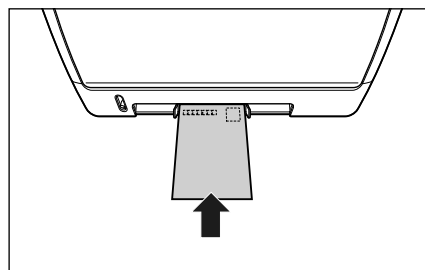
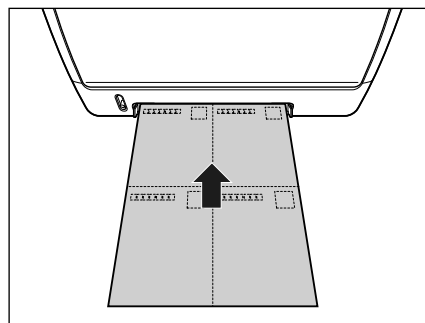
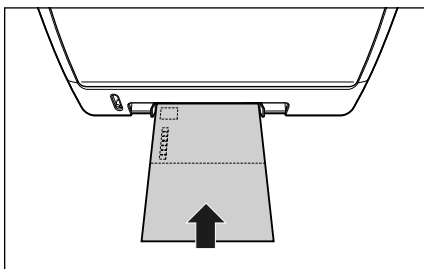
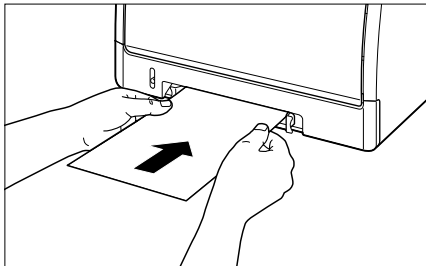
用紙ガイドは左右が連動しています。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-23）を参照してください。

Check!

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

Point

封筒、はがきの場合は以下のようにセットします。

・封筒　洋形４号／洋形２号
ふたがプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

・往復はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

・はがき／４面はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

2 図のように用紙に手をそえて、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

3 以降の手順で、プリンタドライバの設定を行います。

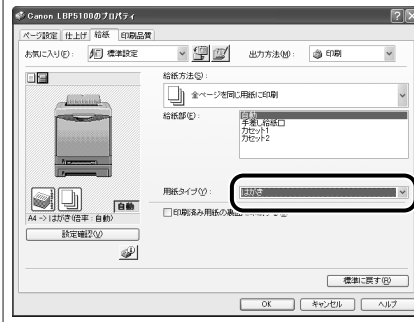
● ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

4 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

Point

アプリケーションソフトで用紙サイズを［はがき］や［ハガキ］に設定しても、プリンタドライバの用紙タイプは［はがき］に設定されません（アプリケーションソフトの用紙サイズの設定は、通常［ファイル］メニューの［ページ設定］や［印刷設定］で行います）。
例）Adobe Reader 7.0（［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します）

ここで［はがき］を選択しても、用紙タイプは［はがき］には設定されません。

郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがきに印刷する場合は、必ずプリンタドライバの［給紙］ページの［用紙タイプ］を［はがき］に設定してください。

5 [ページ設定] ページを表示して、[原稿サイズ] からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

6 必要に応じて [出力用紙サイズ] でセットした用紙のサイズを選択します。

[原稿サイズ] と給紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、[原稿サイズと同じ] に設定しておきます。

[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

7 [給紙] ページを表示して、[給紙部] で [手差し給紙口] を選択します。

[給紙方法] を [全ページを同じ用紙に印刷] 以外に設定している場合は、[給紙部] の設定が [最初のページ] や [その他のページ] などに変わりますが、[給紙部] の設定と同様に設定します。

8 [用紙タイプ] でセットした用紙のタイプを選択します。

[用紙タイプ] に応じて、次のように設定してください。

普通紙	60 ～ 74g/m^2	[普通紙 L]
	75 ～ 90g/m^2	[普通紙]
厚紙	91 ～ 120g/m^2	[厚紙 1]
	121 ～ 163g/m^2	[厚紙 2]
OHP フィルム		[OHP フィルム]
ラベル用紙		[ラベル用紙]
はがき		[はがき]
封筒		*

* 封筒の場合は、[ページ設定] ページの [出力用紙サイズ] を設定すると自動的に封筒に適した印刷モードで印刷されます。
[用紙タイプ] を [封筒] に設定して印刷した結果、封筒のふたが貼り付いてしまう場合は、[用紙タイプ] を [封筒L] に設定してください。

9 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

10 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

ユーザ定義用紙（不定形用紙）に印刷する

ユーザ定義用紙をセットできる給紙部は給紙カセットと手差し給紙口です。連続で印刷を行う場合は給紙カセットにユーザ定義用紙をセットします。

給紙カセットにセットされている用紙と異なる用紙を1枚だけ印刷する場合は手差し給紙口にユーザ定義用紙をセットします。

幅 76.2mm ～ 215.9mm、長さ 127.0mm ～ 355.6mm のユーザ定義用紙がセットできます。

ユーザ定義用紙を印刷する場合は、以下の操作を行ってください。

● ユーザ定義用紙の登録する（→ P.2-16）
● ユーザ定義用紙をセットする
・給紙カセットにセットする場合（→ P.2-17）
・手差し給紙口にセットする場合（→ P.2-20）
● プリンタドライバを設定して、ユーザ定義用紙を印刷する（→ P.2-21）

ユーザ定義用紙の登録方法

ユーザ定義用紙を印刷する場合は、次の手順でユーザ定義用紙をプリンタドライバに登録する必要があります。

ユーザ定義用紙の登録は、以下のダイアログボックスを表示して行います。

• Windows 2000/XP/Server 2003 の場合
［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 は［プリンタと FAX］フォルダ）から［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。
• Windows 98/Me の場合
［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。

Point

ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

1 ［ページ設定］ページを表示し、［ユーザ定義用紙］をクリックします。

2 必要に応じて各項目を設定します。

［用紙一覧］：　定形用紙と登録済みのユーザ定義用紙の［名前］と［サイズ］が表示されます。

［ユーザ定義用紙名］：　登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。Windows 98/Me の場合は、半角 31文字 / 全角15文字まで、Windows2000/XP/Server 2003 の場合は、半角 / 全角31 文字まで入力できます。

［単位］：　ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位（［ミリメートル］または［インチ］）を選択します。

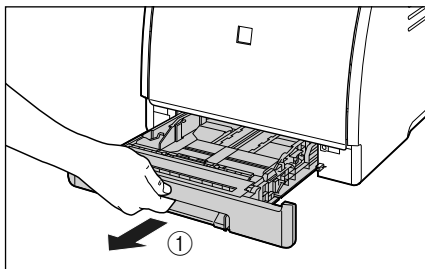
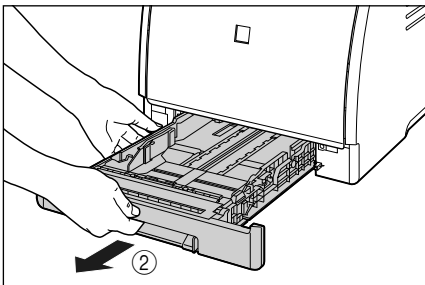
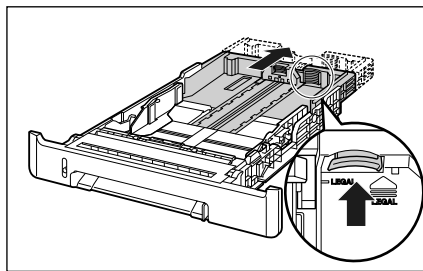
［用紙サイズ］：　ユーザ定義用紙の高さと幅（［高さ］≧［幅］）を設定します。用紙サイズは、縦長（［高さ］≧［幅］）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

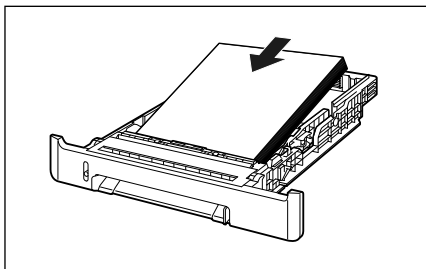
3 ［登録］をクリックして、［OK］をクリックします。

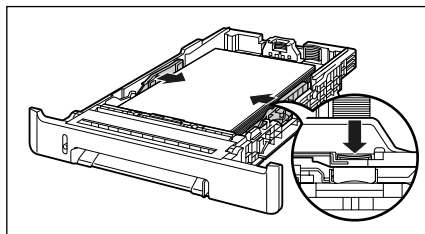
給紙カセットにユーザ定義用紙をセットする

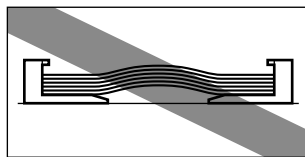
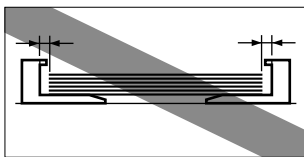
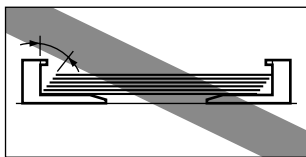
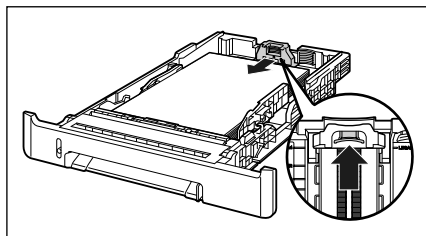
給紙カセットにユーザ定義用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

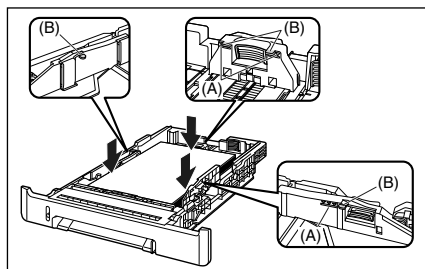
1 給紙カセットを引き出します。

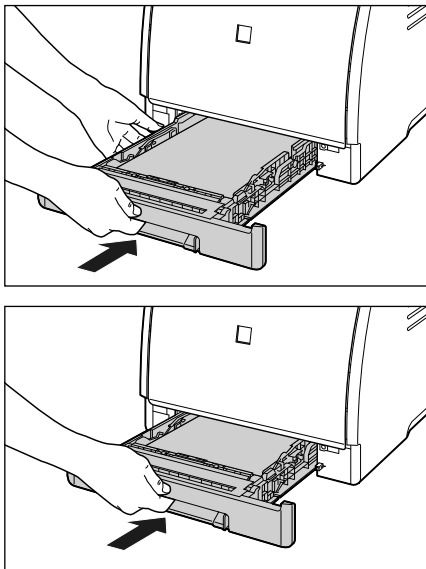
給紙カセットをゆっくりと引き出します①。

図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します②。

2 長さが A4 サイズ(297.0mm)よりも大きいサイズの用紙をセットする場合は、図の位置にあるロック解除レバーをつまみながら、給紙カセットの長さを調節します。

3 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-23）を参照してください。

4 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙のサイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

Point

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

5 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットした用紙のサイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

6 用紙を図のように下へ押さえ、積載制限マーク（A）を超えていないか確認し、用紙ガイドに付いているツメ（B）の下に用紙を入れます。

用紙ガイドのツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分にない場合は用紙を少し減らします。

7 給紙カセットをプリンタにセットします。

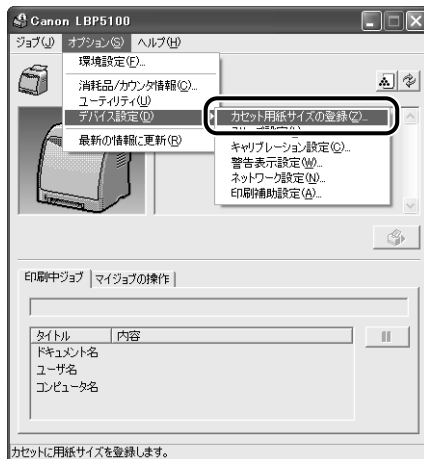
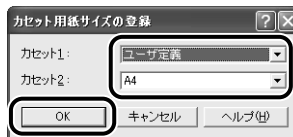
給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

8 以降の手順でセットした用紙サイズの登録を行います。

本プリンタの給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、プリンタステータスウィンドウでセットした用紙サイズを登録する必要があります。

- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

9 プリンタステータスウィンドウを表示します。

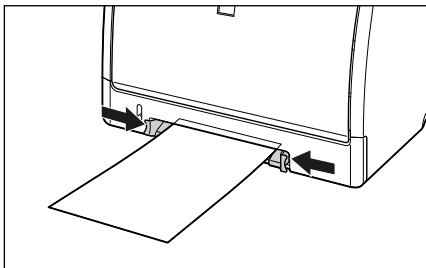
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→ P.1-7）を参照してください。

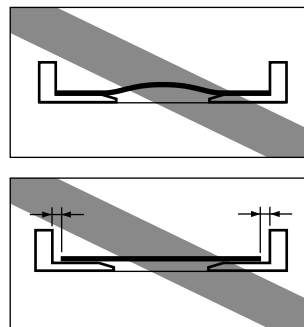
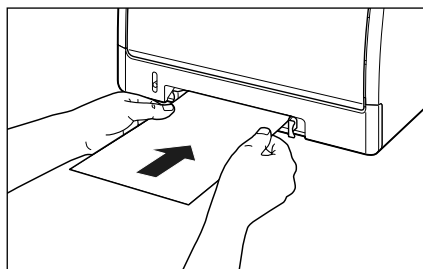
10 ［オプション］メニューから［デバイス設定］→［カセット用紙サイズの登録］を選択します。

11 ［ユーザ定義］を選択し、［OK］をクリックします。

引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-21）。

手差し給紙口にユーザ定義用紙をセットする

手差し給紙口にユーザ定義用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

1 **図のように用紙ガイドをセットする用紙の幅に合わせて移動します。**

用紙ガイドは左右が連動しています。
セットする用紙の向きについては、「用紙のセット向きについて」（→ P.2-23）を参照してください。

Check!

必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

2 **図のように用紙に手をそえて、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。**

引き続きプリンタドライバの設定を行います（→ P.2-21）。

プリンタドライバの設定方法

ユーザ定義用紙を印刷するときは、次の手順でプリンタドライバを設定します。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

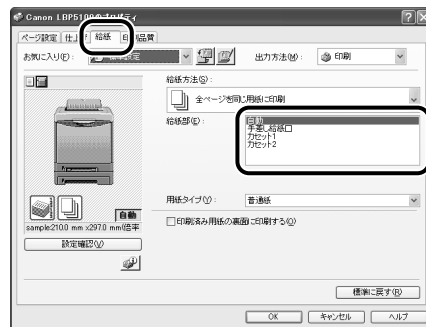
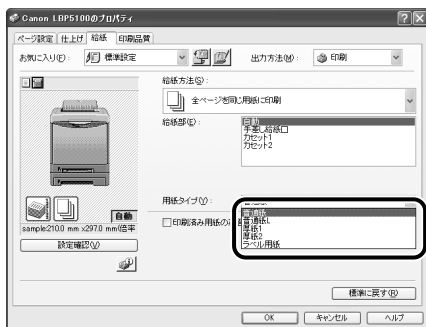
2 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

3 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットしたユーザ定義用紙を選択します。

［原稿サイズ］と給紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

4 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］を選択します。

［給紙方法］を［全ページを同じ用紙に印刷］以外に設定している場合は、［給紙部］の設定が［最初のページ］や［その他のページ］などに変わりますが、［給紙部］の設定と同様に設定します。

5 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

［用紙タイプ］に応じて、次のように設定してください。

普通紙	60～74g/m^2	［普通紙L］
	75～90g/m^2	［普通紙］
厚紙	91～120g/m^2	［厚紙1］
	121～163g/m^2	［厚紙2］

6 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

7 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

用紙のセット向きについて

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、以下のように正しい向きに用紙をセットしてください。表中の➡は給紙方向を表しています。

	縦レイアウト	横レイアウト
カセット1、2（片面印刷）		
カセット1、2（自動両面印刷）		
手差し給紙口（片面印刷）		
手差し給紙口（自動両面印刷）		

・ 封筒、はがきの用紙セットの方向については「給紙カセットに用紙をセットして印刷する」（→ P.2-5）、「手差し給紙口に用紙をセットして印刷する」（→P.2-11）を参照してください。

トナーカートリッジを交換する

メッセージが表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）にメッセージが表示されます。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
「（トナーの色）* のトナーカートリッジは交換時期が近づいています。」	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・表示された色の新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
「トナーカートリッジを確認してください」 「寿命などの原因により印字品質を保証できないトナーカートリッジがセットされているか、一度寿命になった使用済みのトナーカートリッジがセットされている可能性があります。継続して使用した場合に、プリンタ本体の故障の原因となることがありますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。詳しくは、［消耗品 / カウンタ情報］ダイアログで確認してください。」	トナーカートリッジが寿命になったとき	・プリンタは停止します ・［エラー復帰］ボタン（Windows）／［再開］ボタン（Macintosh）をクリックするとそのまま印刷を継続できますが、プリンタ本体の故障の原因となることがありますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします
「トナーカートリッジの交換が必要です」 「（トナーの色）* のトナーカートリッジが寿命になりました。前カバーを開けて、トナーカートリッジを交換してください。」	トナーカートリッジが寿命になったとき	・ブラックのトナーカートリッジが寿命になったときは、プリンタは停止し、継続して印刷することはできません ・ブラック以外のトナーカートリッジが寿命になったときは、モノクロ印刷のみ行うことができます ・表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください

* （トナーの色）には、ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンが表示されます（複数表示される場合もあります）。

● トナーカートリッジの寿命について

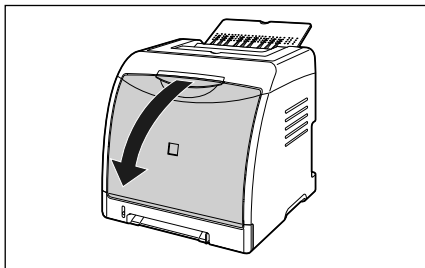
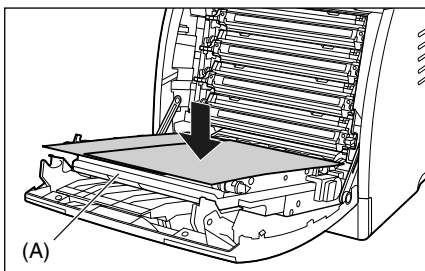
- 本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は下記の条件でのページ数です。
  印字比率：5%、印字濃度：工場出荷初期設定値、用紙サイズ：A4 またはレター、用紙タイプ：普通紙
  - ・Cartridge 307 Black(ブラック)：　約 2,500 ページ
  - ・Cartridge 307 Yellow(イエロー)：　約 2,000 ページ
  - ・Cartridge 307 Magenta(マゼンタ)：　約 2,000 ページ
  - ・Cartridge 307 Cyan(シアン)：　約 2,000 ページ
- 間欠プリント（間隔をおいたプリント）、用紙サイズ、用紙タイプなど、印刷条件や印刷環境によっては、半分程度の枚数になることがあります。
- 印字比率が低くトナー消費量が少ない場合でも、期待した印字可能枚数を実現できない場合があります。また、カラープリントの場合は、複数色のカートリッジが同時に寿命になることもあります。
- モノクロプリントした場合でも、プリンタの構造上、マゼンタ、イエロー、シアンのカートリッジの寿命に影響することがあります。

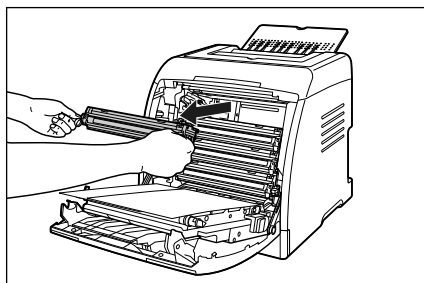
トナーカートリッジの交換

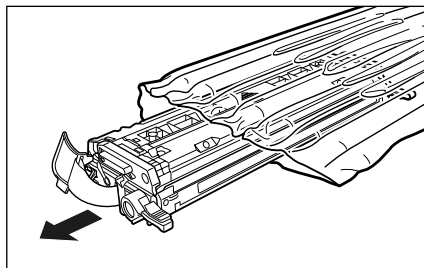
次の手順で新品のトナーカートリッジに交換してください。

* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 前カバーを開けます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと開けます。

2 ETB ユニット（A）の搬送ベルトの上に、図のようにご使用の用紙（A4 サイズの用紙を推奨）をずれないように置きます。

3 交換する色のトナーカートリッジの左右にある青色の取っ手を持ち、水平に引き抜きます。

トナーカートリッジはしっかりと両手で持って、ETB ユニットの搬送ベルトに触れないように引き抜きます。

4 新しいトナーカートリッジを箱から取り出したあと、保護袋から取り出します。

保護袋は矢印付近に切り込みがありますので、手で切り取って開けることができます。ただし、手で切り取れない場合は、トナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けてください。

5 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと 5 ～ 6 回振って、内部のトナーを均一にならします。

6 トナーカートリッジを平らな場所に置き、タブをトナーカートリッジの側面から取り外し①、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約 50cm）をゆっくりと引き抜きます②。

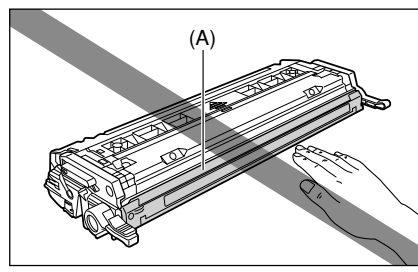
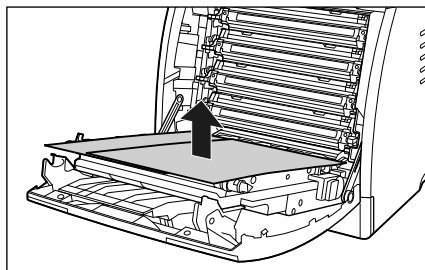
シーリングテープは、タブに指をかけ、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。

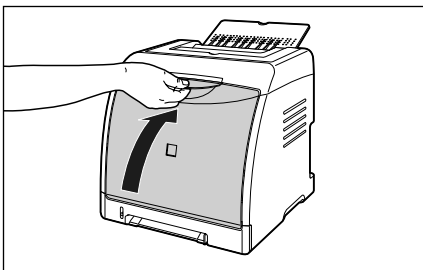
Point

シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッター（A）を手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

7 図のように矢印のついている面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。

8 トナーカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

交換する色のトナーカートリッジの（A）を同じ色のラベルが貼られているスロット（B）に合わせて止まるまで差し込みます。

9 用紙を取り除きます。

10 前カバーを閉めます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと閉めます。

Point

前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。

定着ローラを清掃する

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。

クリーニングの実行には、約 80 秒かかります。

クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

A4 サイズの用紙以外に、クリーニングページを出力することはできません。A4 サイズの用紙をご用意ください。

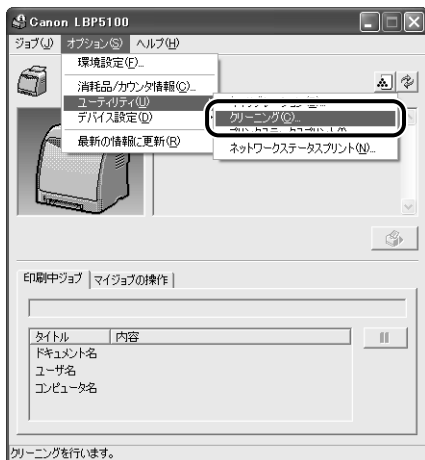
Point

- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。
- 共有プリンタとして使用している場合、クライアントのコンピュータからはクリーニングは実行できません。

1 手差し給紙口または給紙カセットに、A4 サイズの白紙用紙（普通紙）をセットします。

2 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→ P.1-7）を参照してください。

3 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［クリーニング］を選択します。

確認のメッセージが表示されます。

4 ［OK］をクリックします。

プリンタステータスウィンドウに「クリーニング中です」と表示され、クリーニングが開始されます。

クリーニングページが排出され、メッセージが消えれば終了です。

Check!

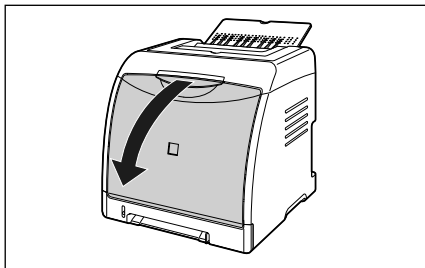
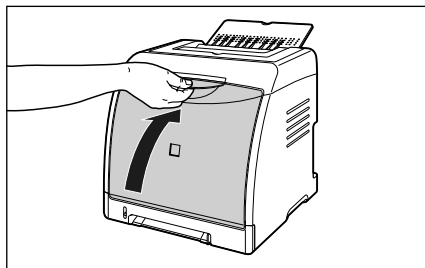
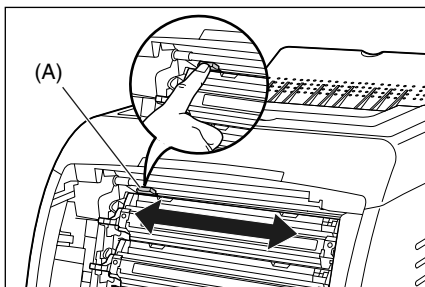
クリーニングページは排紙トレイに完全に排紙されるまで触れないでください。クリーニングページは表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。

除電ユニットを清掃する

プリンタ購入時に比べて印刷品質が低下した場合、除電ユニットが汚れている可能性がありますので、次の手順で除電ユニットを清掃してください。

Point

プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）の［印刷補助設定］ダイアログボックスにある、［印刷時に付着するすじ状の汚れを抑制する］にチェックマークを付けると、除電ユニットを使用せずに印刷しますので、除電ユニットを清掃しても効果はありません。

1 前カバーを開けます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと開けます。

2 青色の除電ユニットクリーナ（A）を図のように指で押さえ、2～3回往復させて清掃します。

Check!

清掃が終わったら、除電ユニットクリーナを元の位置（左端）に戻してください。除電ユニットクリーナを正しい位置に戻さないと、印刷した画像が帯状に欠けることがあります。

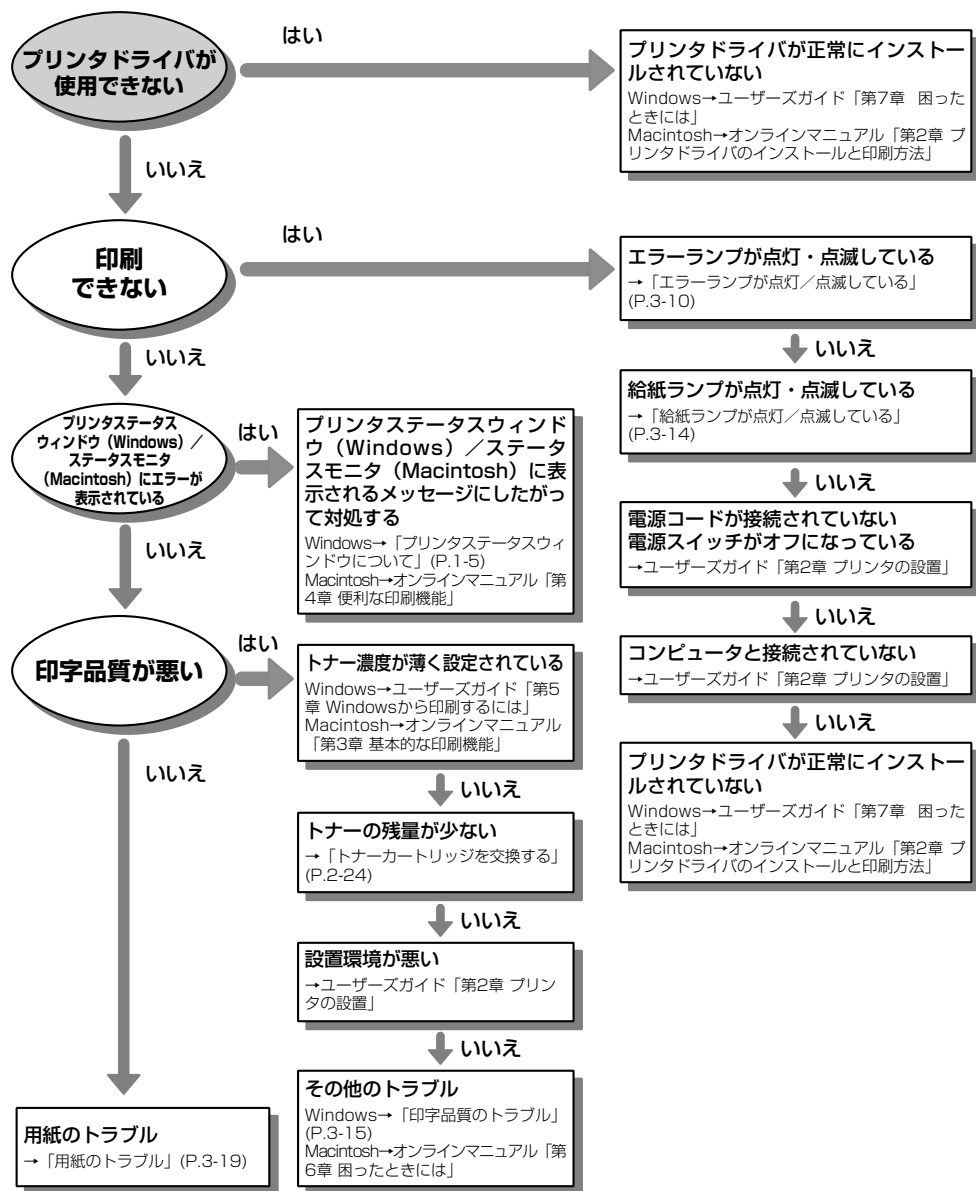
3 前カバーを閉めます。

前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと閉めます。

トラブルの対処法

Chapter

トラブル解決マップ

本プリンタを使用中に異常が発生したときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

プリンタの色味が変わってしまったときには

色味が変わり正しい色（指定した色）で印刷されないときや色ズレが発生するときなどに、キャリブレーションを行います。

キャリブレーションの実行には、約 150 秒かかります。

Point

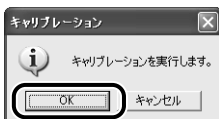
ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

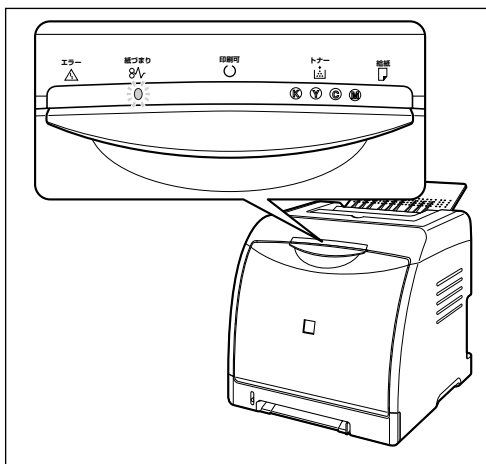
1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→ P.1-7）を参照してください。

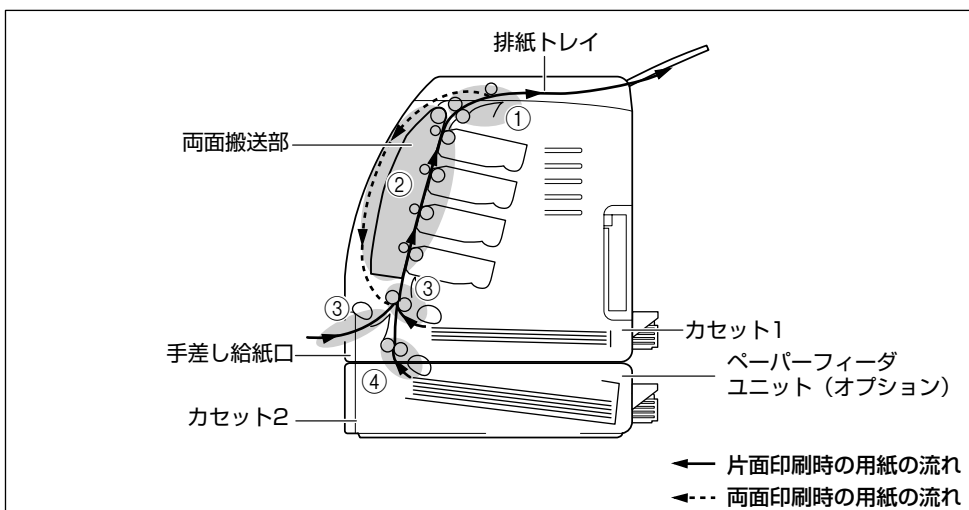
2 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［キャリブレーション］を選択します。

確認のメッセージが表示されます。

3 ［OK］をクリックします。

紙づまりが起こったときには

印刷中に紙づまりが起こると、紙づまりランプ（オレンジ色）が点滅し、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に次のメッセージが表示されます。

例）プリンタステータスウィンドウ（Windows）

紙づまりの位置

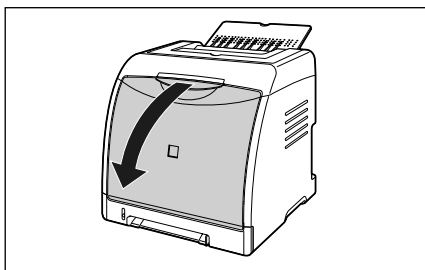
プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に表示されているメッセージは、紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。

紙づまりの位置		ディスプレイメッセージ
①	上カバー内部、排紙トレイ	上カバー
②	前カバー内部、両面搬送部	前カバー
③	手差し給紙口、カセット 1	カセット 1
④	カセット 2（ペーパーフィーダ装着時のみ）	カセット 2

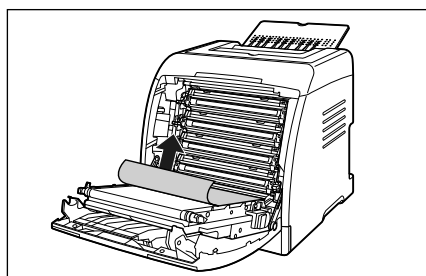
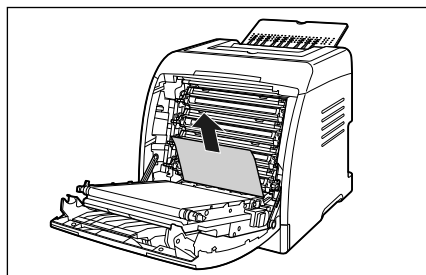
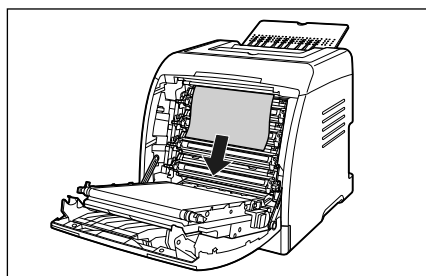
紙づまりの除去手順

次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

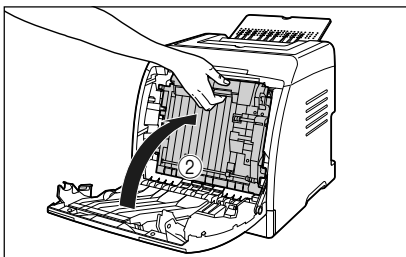
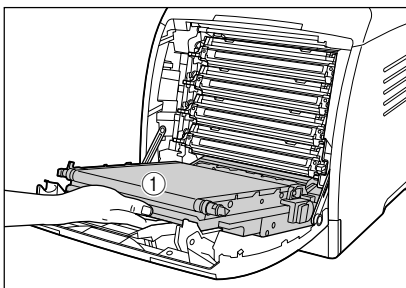
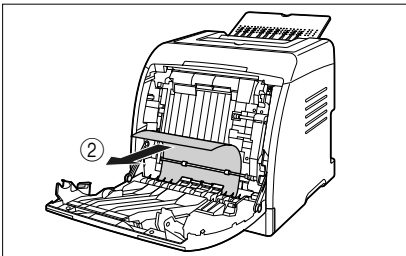
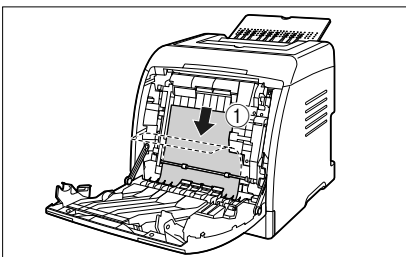
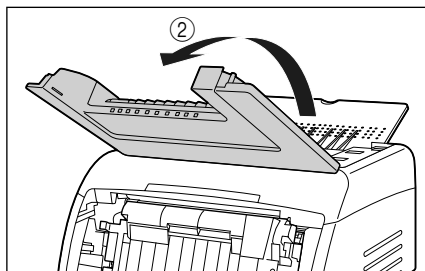
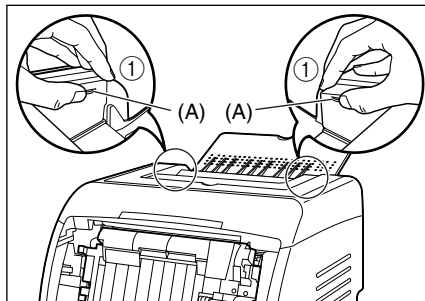
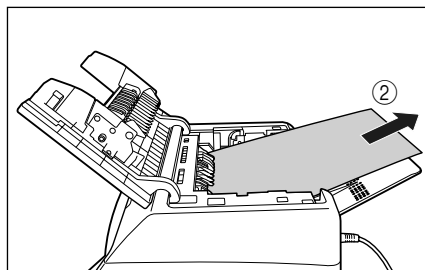
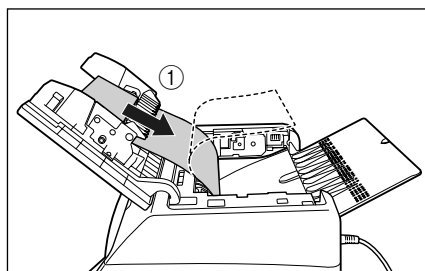
つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

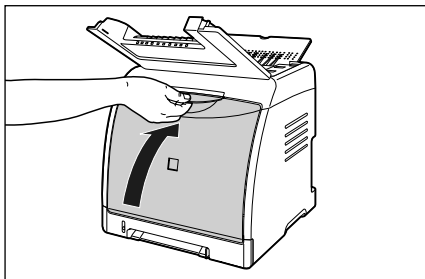
1 前カバーを開けます。

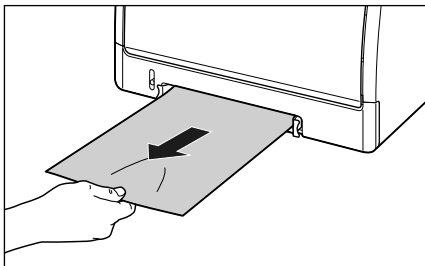
前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと開けます。

2 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

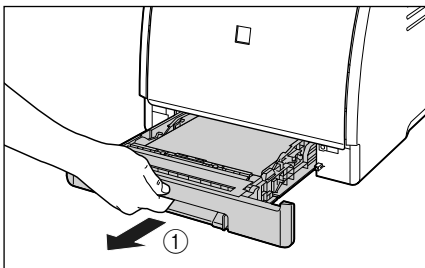
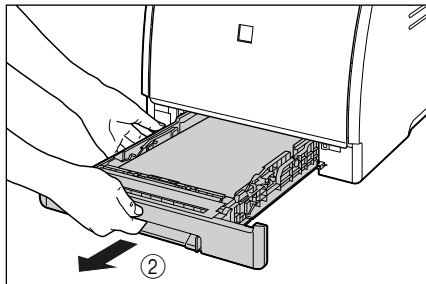
定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと矢印の方向に取り除いてください。また、ETB ユニットの搬送ベルトやトナーカートリッジに触れないように、気を付けて用紙を取り除いてください。

3 両面印刷して紙づまりが起こった場合は、以下の手順を行ってください。

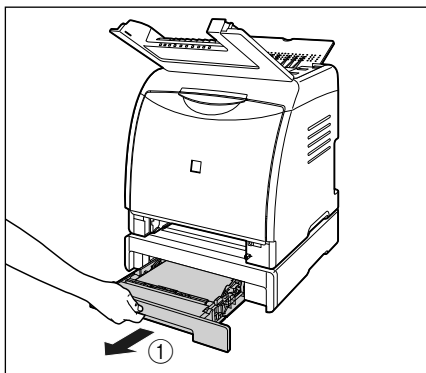
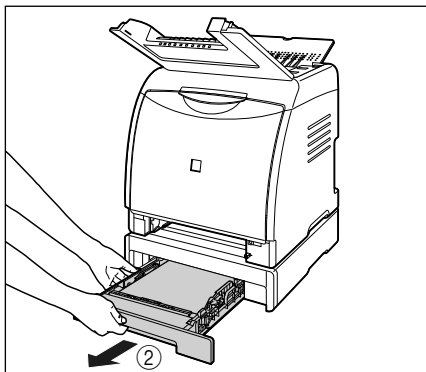
両面印刷をしていない場合は、次の手順に進みます。

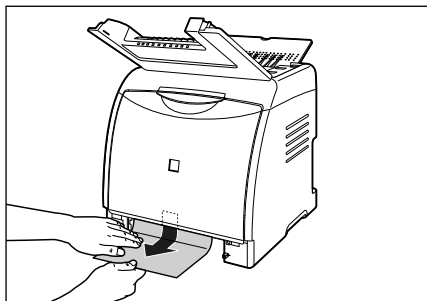
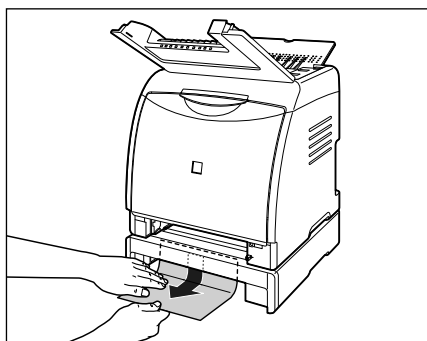
a 図のように両面ユニットの取っ手を持って①、図の位置まで持ち上げます②。

b 図のように用紙の後端を引き出してから①、つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます②。

4 図のように上カバーにある左右のツメ（A）を持ち①、上カバーを開けます②。

5 図のように用紙が上カバーに挟まっている場合は、用紙の先端を引き出してから①、用紙を取り除きます②。

6 前カバーを閉めます。

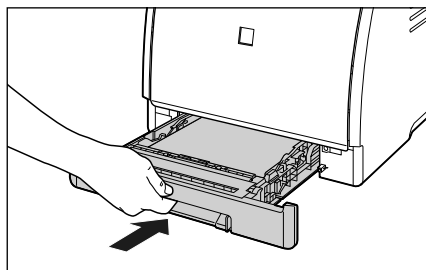
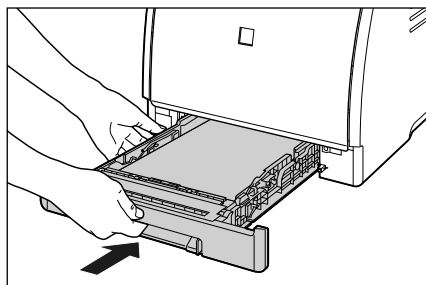
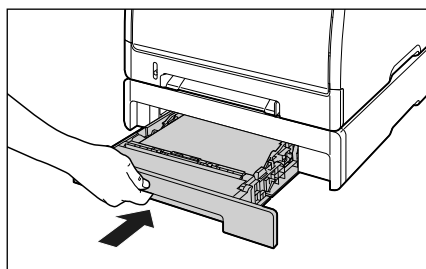
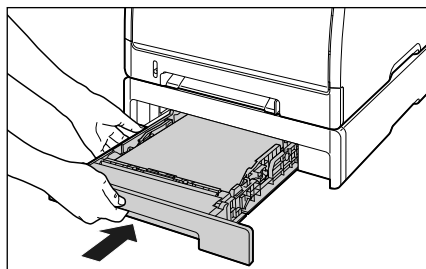
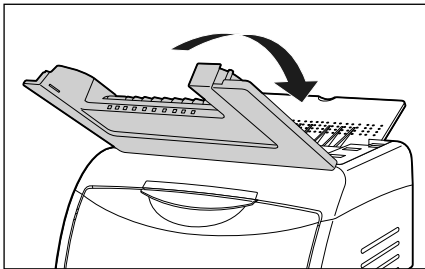
前カバーは前面の取っ手を持って、ゆっくりと閉めます。

7 以降の作業は上カバーを開けた状態で行います。上カバーが閉まらないように気をつけて作業を行ってください。

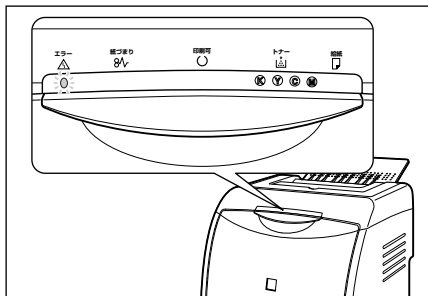
8 手差し給紙口を使用している場合は、手差し給紙口につまっている用紙を取り除きます。

9 給紙カセットを引き出します。

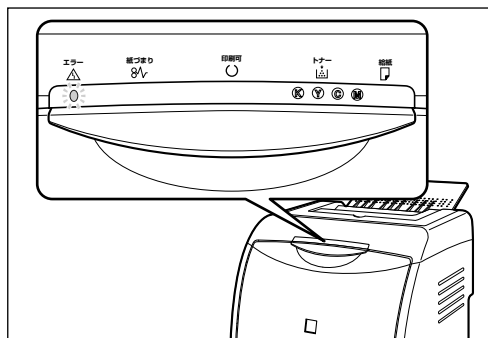
給紙カセットをゆっくりと引き出します①。

図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します②。

10 オプションのペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットを引き出します。

給紙カセットをゆっくりと引き出します①。

図のように両手で持って、ペーパーフィーダから取り外します②。

11 用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除きます。

プリンタ本体の場合

ペーパーフィーダの場合

12 給紙カセットをプリンタにセットします。

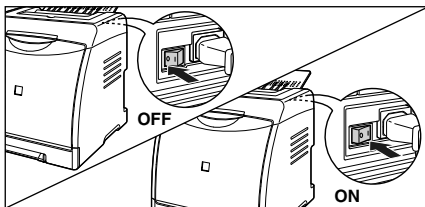
給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

ペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットもセットします。

13 上カバーを閉めます。

エラーランプが点灯／点滅している

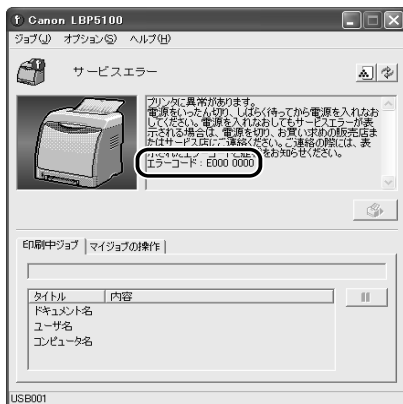
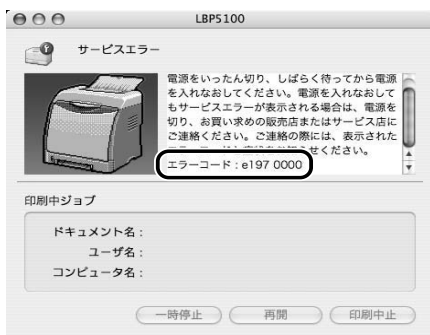
プリンタに何らかのトラブルが起こると、エラーランプ（オレンジ色）が点灯または点滅します。点灯している場合は「エラーランプが点灯している（サービスエラーと表示されている）」（→ P.3-10）を、点滅している場合は「エラーランプが点滅している」（→ P.3-13）を参照してください。

エラーランプが点灯している（サービスエラーと表示されている）

プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、プリンタのエラーランプ（オレンジ色）が点灯し、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に次のようなサービスエラーが表示されます。

サービスコール（Windows の例）	原因	処置
Canon LBP5100 ジョブ(J) オプション(S) ヘルプ(H) サービスエラー プリンタ内部の高圧となる部分に異常があります。除電ユニットの汚れが原因となっている場合がありますので、除電ユニットを清掃してください。清掃後もこのサービスエラーが表示される場合は、電源を切り、お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。ご連絡の際には、表示されたエラーコードと症状をお知らせください。 エラーコード：E808 0000 印刷中ジョブ　マイジョブの操作 タイトル　内容 ドキュメント名 ユーザ名 コンピュータ名 USB001	プリンタ内部の高圧となる部分に異常が発生した。	1「除電ユニットを清掃する」(→P.2-29)の手順に従って除電ユニットを清掃してください。 2 次の手順に従って電源を入れなおしてください。
Canon LBP5100 ジョブ(J) オプション(S) ヘルプ(H) サービスエラー プリンタに異常があります。電源をいったん切り、しばらく待ってから電源を入れなおしてください。電源を入れなおしてもサービスエラーが表示される場合は、電源を切り、お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。ご連絡の際には、表示されたエラーコードと症状をお知らせください。 エラーコード：E000 0000 印刷中ジョブ　マイジョブの操作 タイトル　内容 ドキュメント名 ユーザ名 コンピュータ名 USB001	プリンタに異常が発生した。	次の手順に従って電源を入れなおしてください。

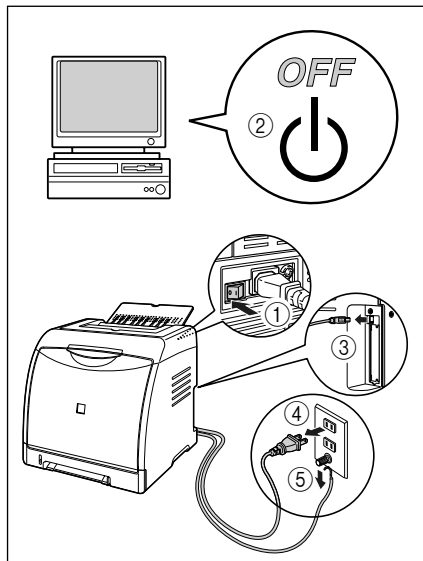
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→ P.1-7）を参照してください。

ステータスモニタの表示方法は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

1 電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。

メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に表示されているエラーコードを書きとめます。

（Windows）

（Macintosh）

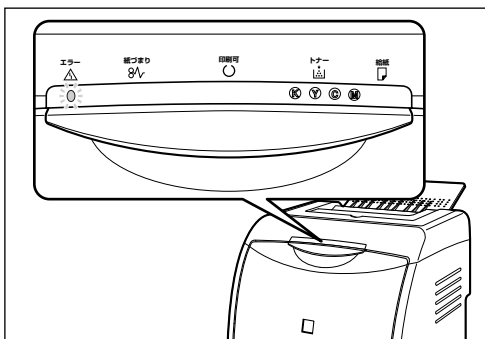
3 次の操作を行います。

プリンタの電源をオフにします①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにして②、USB ケーブルを抜きます③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します⑤。

4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状および書きとめたエラーコードをお知らせください。

不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（裏表紙）にお問い合わせください。

エラーランプが点滅している

プリンタに何らかのエラーが起こり、処置が必要になった場合は、プリンタのエラーランプ（オレンジ色）が点滅し、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に次のようなエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示されたら、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）の表示にしたがって、対処してください。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→ P.1-7）を参照してください。

ステータスモニタの表示方法は、オンラインマニュアル「第４章 便利な印刷機能」を参照してください。

給紙ランプが点灯／点滅している

すべての給紙部に用紙がないときは給紙ランプが点灯します。また、指定した給紙部の用紙がなくなったり、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）の［カセット用紙サイズの登録］の設定とプリンタドライバの［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］（Macintoshは［用紙サイズ］／［出力用紙サイズ］）の設定が異なっているときは、給紙ランプが点滅します。

給紙部の用紙がなくなった場合は、「給紙カセットに用紙をセットして印刷する」（→ P.2-5）、「手差し給紙口に用紙をセットして印刷する」（→ P.2-11）を参照して、用紙をセットしてください。

給紙カセットから印刷する場合でプリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）の［カセット用紙サイズの登録］の設定を行っていないときは、次の手順で給紙カセットにセットした用紙サイズを登録してください。

Point

ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→ P.1-7）を参照してください。

2 ［オプション］メニューから［デバイス設定］→［カセット用紙サイズの登録］を選択します。

3 給紙カセットにセットした用紙サイズを選択し、［OK］をクリックします。

正しく印刷できないときには

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

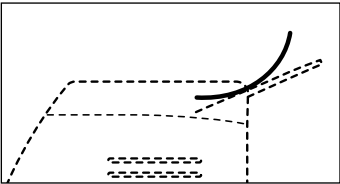
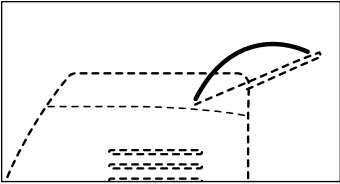
印刷を行う前に、アプリケーションソフトの印刷プレビュー機能で、印刷データが画面に正常に表示されているかを確認してください。印刷プレビューの表示方法は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

Point

ここに記載されているプリンタドライバの操作方法は、Windows を例に記載しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

印字品質のトラブル

症状	原因	処置
用紙が特定の色で塗られて何も印刷されない	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-24）
	プリンタ内部でトラブルが発生している	プリンタステータスウィンドウに「サービスエラー」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。 メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
白いすじが入る	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-24）
すじ状の汚れが付着する	除電ユニットを使用して印刷した	プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［デバイス設定］にある［印刷補助設定］で［印刷時に付着するすじ状の汚れを抑制する］にチェックマークを付けます。そのあと、設定を有効にするために、プリンタの電源を入れなおしてください。ただし、［印刷時に付着するすじ状の汚れを抑制する］にチェックマークを付けると、すじ状の汚れ以外の印刷品質が低下することがあります。
部分的に白く抜ける	適切な用紙を使用していない	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-24）
印刷しない部分に残像が現れる	印刷する用紙が適当でない	用紙を取り替えて印刷してください。（→用紙について：P.2-2）
	幅の狭い用紙（A5 など）を連続印刷したあとに、幅の広い用紙に印刷した	定着器の温度を下げるため、しばらく待ってから印刷しなおしてください。
	トナーカートリッジ内のドラムが劣化している	新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-24）
印字が全体的にうすい	［トナー濃度］の設定が適当でない	プリンタドライバで［トナー濃度］を［濃く］の方へドラッグします。［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。
	［ドラフトモード］が有効になっている	プリンタドライバで［ドラフトモード］のチェックマークを消します。［ドラフトモード］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

症状	原因	処置
印字が全体的に黒ずむ	［トナー濃度］の設定が適当でない	プリンタドライバで［トナー濃度］を［薄く］の方へドラッグします。［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］をクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。
	プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている	プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。
印字ムラが出る	用紙が湿っている、あるいは乾燥している	適切な用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	トナーがなくなった、またはトナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している	［消耗品 / カウンタ情報］ダイアログボックスを表示して、寿命に近づいている色のトナーカートリッジを新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-24）
	印刷を長期間行わなかった	プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 5］に設定してください。［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。
印刷した用紙の先端や後端に細かいすじが入る	低湿度環境で中間調（ハーフトーン）のデータを印刷した	プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 3］に設定してください。 ［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。 また、本プリンタで一度印刷した用紙の裏面へ印刷するときは、プリンタドライバで［印刷済み用紙の裏面に印刷する］にチェックマークを付けると、印字不良が軽減されることがあります。 ［印刷済み用紙の裏面に印刷する］の設定は、［給紙］ページで行います。
		開封直後の用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する	定着ローラが汚れている	定着ローラを清掃してください。（→定着ローラを清掃する：P.2-28）
文字やパターンのまわりにトナーが飛び散ったような跡が付く	用紙が適切でない	使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	低湿度環境でプリンタを使用している	プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 3］に設定してください。 ［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。
2色以上のトナーを重ねた画像がかすれる	用紙が適切でない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
	高湿度環境でプリンタを使用している	プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 1］に設定してください。 ［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。
細線がかすれたり、中間調部分がうすくなる	用紙が適切でない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
	高湿度環境でプリンタを使用している	プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 2］に設定してください。 ［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。
［給紙］ページの［用紙タイプ］を［はがき］または［厚紙 2］に設定して印刷した場合、印刷しない部分にトナーがのる	プリンタの状態によっては、印刷しない部分にトナーがのることがある	プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 6］に設定してください。 ［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

症状	原因	処置
色の濃い部分の輪郭が強調される	印刷するデータによって、色の濃い部分の輪郭が強調されることがある	プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 7］に設定してください。 ［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。
ページの一部が印刷されない	拡大／縮小率の設定が適当でない	プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。 ［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。
		プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。 ［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。
	用紙をセットする位置が合っていない	用紙を正しくセットしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差し給紙口に用紙をセットして印刷する：P.2-11）
	余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した	本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲 5mm（封筒は10mm（右余白は 7.6mm））の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。
		プリンタドライバで［用紙の左上を原点として印字する］にチェックマークを付け、印刷します。 ［用紙の左上を原点として印字する］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。
印字位置がずれてしまう	［とじしろ］が設定されている	プリンタドライバで［とじしろ］の設定を［0］にします。 ［とじしろ］の設定は、［仕上げ］ページの［とじしろ］をクリックして、［とじしろ指定］ダイアログボックスで行います。
	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が適当でない	アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定してください。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
ページの途中から次ページに分かれて印刷される	アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない	ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（→アプリケーションソフトの取扱説明書）
用紙が真っ白で何も印刷されない	シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした	トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-24）
	用紙が重なって送られた	用紙をよく揃えてからセットしなおしてください。OHP フィルム、ラベル用紙、コート紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（→給紙カセットに用紙をセットして印刷する：P.2-5、手差し給紙口に用紙をセットして印刷する：P.2-11）
定着性が悪い	適切な用紙を使用していない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
	アプリケーションソフトで用紙サイズを［はがき］や［ハガキ］に設定して印刷した	郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがきに印刷する場合は、必ずプリンタドライバの［給紙］ページの［用紙タイプ］を［はがき］に設定してください。アプリケーションソフトで用紙サイズを［はがき］や［ハガキ］に設定しても、プリンタドライバの用紙タイプは［はがき］に設定されません。
	表面の粗い厚紙を使用した	プリンタドライバで［用紙タイプ］を［厚紙 1］または［厚紙 2］に設定します。 ［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。
		プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 4］に設定してください。 ［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。
	プリンタ内部でトラブルが発生している	プリンタステータスウィンドウに「サービスエラー」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、10 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。
		上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

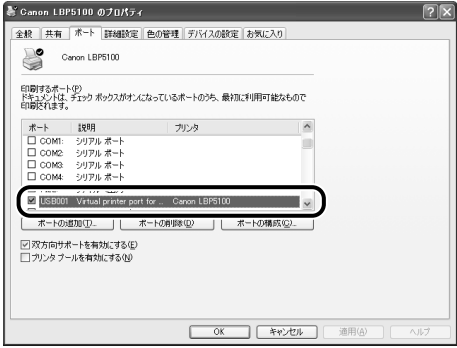
症状	原因	処置
カラーの線や文字がかすれる	細い線や文字を使用している	プリンタドライバで[色付きの線や文字を優先して印刷する]にチェックマークを付けます。 [色付きの線や文字を優先して印刷する]の設定は、[印刷品質]ページの[印刷品質]で[ユーザ設定]を選択し、[設定]をクリックして[ユーザ設定]ダイアログボックスで行います。
カラーの文字がぼけて見える	カラーの文字に太いフォントを使用している	プリンタドライバで[マッチング方法]の設定を[モニタの色に合わせる]に設定します。 [マッチング方法]の設定は、[印刷品質]ページの[色の設定を行う]にチェックマークを付け、[色設定]をクリックして[マッチング]ページで行います。
印刷する色によって印字位置がわずかにずれる	レーザプリンタは非常に精度の高い技術で作られていますが、印刷画像によっては、ごくわずかに色ずれが目立つ場合があります。これは、レーザプリンタの構造によるもので、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	キャリブレーションを行ってください。(→プリンタの色味が変わってしまったときには:P.3-3)
		プリンタドライバで[グレー補償]を[使わない]に設定すると、印字不良(色ずれ)が軽減されることがあります。 [グレー補償]の設定は、[印刷品質]ページの[印刷品質]で[ユーザ設定]を選択し、[設定]をクリックして[ユーザ設定]ダイアログボックスで行います。
色ずれにより正しい色(指定した色)で印刷されない、カラーの文字がぼけて見える	トナーカートリッジが正しくセットされていない	トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。(→トナーカートリッジを交換する:P.2-24)
	4色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはトナーカートリッジ内のドラムが劣化している	キャリブレーションを行ってください。(→プリンタの色味が変わってしまったときには:P.3-3)
		[消耗品/カウンタ情報]ダイアログボックスを表示して、寿命に近づいている色のトナーカートリッジを新しいトナーカートリッジに交換してください。(→トナーカートリッジを交換する:P.2-24)
	適切な用紙を使用していない	使用できる用紙に交換し、印刷しなおします。(→用紙について:P.2-2)
	電源投入時など、キャリブレーション終了前にデータを送った	キャリブレーションが終了したことを確認してから、データを送ってください。(→プリンタの色味が変わってしまったときには:P.3-3) * 工場出荷時の設定では、キャリブレーションを行う必要があるときでも、印刷するジョブがある場合は、優先して印刷が行われるように設定されています。 キャリブレーションを優先して行う場合は、次の設定を行ってください。 1. プリンタステータスウィンドウを表示します。 2. [オプション]メニューの[デバイス設定]にある[キャリブレーション設定]を選択します。 3. [キャリブレーション発生時の動作]で[キャリブレーションを優先]を選択します。
細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色で印刷されない、または消えてしまう	色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある	アプリケーションソフトで色を調整して、印刷しなおします。
		アプリケーションソフトでパターンを変更して、印刷しなおします。
	網点のパターンにより、色が違って見える	濃い色に変更して、印刷しなおします。
網かけパターンが正しい色(指定した色)で印刷されない	印刷データの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している	アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、印刷しなおします。
		プリンタドライバで[カラー中間調]または[モノクロ中間調]の設定を[階調]や[色調]に変更します。 [カラー中間調]または[モノクロ中間調]の設定は、[印刷品質]ページの[印刷品質]で[ユーザ設定]を選択し、[設定]をクリックして[ユーザ設定]ダイアログボックスで行います。
写真などのプリントでディスプレイの色とプリントの色が異なる	画面(RGB)とプリンタ(YMC)で色の調整方法が異なるため、プリントでは、画面の色が忠実に再現できない場合がある	プリンタドライバで[イメージ]の[マッチング方法]を[モニタの色に合わせる]に設定します。 [マッチング方法]の設定は、[印刷品質]ページの[色の設定を行う]にチェックマークを付け、[色設定]をクリックして[マッチング]ページで行います。
		プリンタドライバで[ガンマ補正]を調整します。 [ガンマ補正]の設定は、[印刷品質]ページの[色の設定を行う]にチェックマークを付け、[色設定]をクリックして[マッチング]ページで行います。

症状	原因	処置
グラデーションのかかった図形を印刷した場合に、グラデーションにすじが入る	図形の「すじ」のグレーの色の部分に、[グレー補償]が効いている	プリンタドライバで[グレー補償]を[使わない]に設定します。 [グレー補償]の設定は、[印刷品質]ページの[印刷品質]で[ユーザ設定]を選択し、[設定]をクリックして[ユーザ設定]ダイアログボックスで行います。
塗りつぶしパターンとパターンの枠線を同じ色に指定しても、正しい色(指定した色)で印刷されない	細い線をきれいに印刷するために、枠線の線幅によって特殊処理が行なわれることがある	プリンタドライバで[テキスト]と[グラフィックス]の[マッチング方法]の設定を同じにします。 [マッチング方法]の設定は、[印刷品質]ページの[色の設定を行う]にチェックマークを付け、[色設定]ボタンをクリックして[マッチング]ページで行います。
		プリンタドライバで[ガンマ補正]の設定を調整します。 [ガンマ補正]の設定は、[印刷品質]ページの[色の設定を行う]にチェックマークを付け、[色設定]ボタンをクリックして[マッチング]ページで行います。
印刷した用紙の裏が汚れる	セットされている用紙サイズよりも大きなサイズの印刷データを送った	印刷データがセットされている用紙サイズに合っているか確認してください。
購入時に比べ印刷品質が悪くなった	除電ユニットが汚れている	除電ユニットを清掃してください。(→除電ユニットを清掃する:P.2-29)
文字や線のまわりにコンピュータのディスプレイ上にはない四角い領域が現れて、他と異なる色で印字される	OSやアプリケーションソフトによっては、設定した中間調処理や色処理と異なる処理が行われる場合がある	プリンタドライバで[グレー補償]の設定を[すべて]または[使わない]に設定します。 [グレー補償]の設定は、[印刷品質]ページの[印刷品質]で[ユーザ設定]を選択し、[設定]をクリックして[ユーザ設定]ダイアログボックスで行います。
		プリンタドライバで[カラー中間調]または[モノクロ中間調]の設定を[解像度]、[階調]、[色調]のいずれかに設定します。 [カラー中間調]または[モノクロ中間調]の設定は、[印刷品質]ページの[印刷品質]で[ユーザ設定]を選択し、[設定]をクリックして[ユーザ設定]ダイアログボックスで行います。
		プリンタドライバで[テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ]の[マッチング方法]を同じ設定にします。 [マッチング方法]の設定は、[印刷品質]ページの[色の設定を行う]にチェックマークを付け、[色設定]ボタンをクリックして[マッチング]ページで行います。

用紙のトラブル

症状	原因	処置
用紙にしわがよる	給紙カセットや手差し給紙口に用紙を斜めにセットした	給紙カセットや手差し給紙口にまっすぐに用紙をセットしてください。(→給紙カセットに用紙をセットして印刷する:P.2-5、手差し給紙口に用紙をセットして印刷する:P.2-11)
	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。(→用紙について:P.2-2)

症状	原因	処置
用紙がカールする	用紙の保管状態が悪く、吸湿している	新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	用紙が適切でない	本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→用紙について：P.2-2）
	薄手の用紙を使用している	プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙 L］に設定します。 ［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。
		プリンタドライバで［排紙時の用紙のカール補正］を以下のように設定してください。 排紙トレイに排紙された用紙が、次のように反る場合は［表面側の反り（マイナスのカール）補正］に設定します。 排紙トレイに排紙された用紙が、次のように反る場合は［裏面側の反り（プラスのカール）補正］に設定します。 問題が解決した場合は、［排紙時の用紙のカール補正］を［しない］に戻してください。 ［排紙時の用紙のカール補正］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックし、［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。
封筒のふたが貼り付いてしまう	封筒が適切でない	使用できる封筒に交換し、印刷しなおしてください。（→用紙について：P.2-2）
	定着モードがあっていない	プリンタドライバで［用紙タイプ］を［封筒 L］に設定します。 ［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。

データがプリンタへ送られないときには

Point

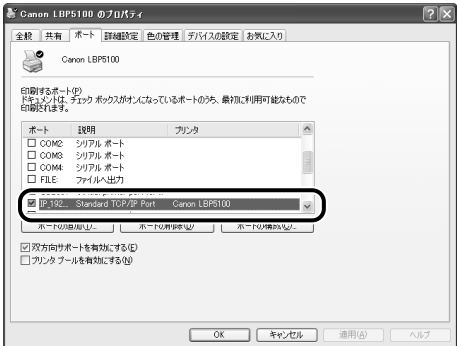
Macintosh をお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、オンラインマニュアル「第 6 章 困ったときには」を参照してください。

プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続している場合

プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続している場合で、印刷するデータがプリンタに送られず、印刷できないときは、次のことが考えられます。適切な処置を行ってください。

症状	原因	処置
プリンタの電源が入っていない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	延長コードを使用したりタコ足配線をしている	壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。
	ブレーカが落ちている	配電盤のブレーカをオンにします。
	電源コード内部で断線している	同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。
USB ケーブルが正しく接続されていない	USB ケーブルが外れている	プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。
	USB ケーブルが合っていない	本プリンタの USB インタフェース環境に合った USB ケーブルを使用してください。本プリンタの USB インタフェース環境は、USB 2.0Hi-Speed（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）、USB Full-Speed（USB1.1 相当）です。 USB ケーブルは、以下のマークがあるケーブルをご使用ください。 HI-SPEED CERTIFIED USB

症状	原因	処置
ポートが合っていない	使用するポートが正しく選択されていない	以下の操作を行ってください。 1. ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。 Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。 Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。 Windows XP Home Editionの場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。 2. 本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。 3. ［ポート］ページ（Windows98/Me は［詳細］ページ）を表示して、使用するポートが正しく選択されているか確認します。 正しいポートが選択されていない場合は、正しいポートを選択して、［OK］をクリックします。 使用するポートがない場合は、プリンタドライバをアンインストールして、もう一度インストールしなおしてください。（→ユーザーズガイド「第 4 章 Windows の印刷環境を設定するには」）

プリンタの共有機能を使用している場合

プリンタの共有機能を使用している場合で、印刷するデータがプリンタに送られず、印刷できないときは、次のことが考えられます。適切な処置を行ってください。

症状	原因	処置
プリンタの電源が入っていない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	延長コードを使用したりタコ足配線をしている	壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。
	ブレーカが落ちている	配電盤のブレーカをオンにします。
	電源コード内部で断線している	同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。

症状	原因	処置
インタフェースケーブルが正しく接続されていない	インタフェースケーブルが外れている	プリンタとプリントサーバ、プリントサーバとクライアントのコンピュータがインタフェースケーブルで正しく接続されているかを確認してください。
	USB ケーブルが合っていない	プリンタにUSB ケーブルを接続する場合は、本プリンタのUSB インタフェース環境に合った USB ケーブルを使用してください。本プリンタのUSBインタフェース環境は、USB 2.0Hi-Speed（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）、USB Full-Speed（USB1.1 相当）です。 USB ケーブルは、以下のマークがあるケーブルをご使用ください。
プリントサーバに問題がある	プリントサーバの電源が入っていない	プリントサーバの電源を入れてください。
	プリントサーバがネットワークに正しく接続されていない	プリントサーバとネットワークが LAN ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。
		プリントサーバのネットワーク設定が正しいか確認してください。
	追加ドライバ（代替ドライバ）が正しく更新されていない	追加ドライバ（代替ドライバ）を更新（アップデート）するときは、プリントサーバで使用しているプリンタドライバをアンインストールして、新しいプリンタドライバをインストールしたあと、ユーザーズガイド「第 4 章 Windows の印刷環境を設定するには」を参照して追加ドライバをインストールしてください。
	Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOSのコンピュータをプリントサーバとして使用している場合に、クライアント側との通信がWindows ファイアウォールでブロックされている	プリントサーバを起動して、クライアント側との通信に対するWindowsファイアウォールのブロックを解除してください。（→ユーザーズガイド「第 9 章 付録」）
クライアントに問題がある	Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOSのコンピュータをクライアントとして使用している場合に、プリントサーバ側との通信がWindows ファイアウォールでブロックされている	サーバ側との通信に対するWindowsファイアウォールのブロックを解除してください。（→ユーザーズガイド「第 9 章 付録」）
プリントサーバへのネットワークのパスが正しくない	プリンタドライバのインストール時にネットワークのパスを間違って指定している	[プリンタの追加ウィザード] からインストールする場合に、「¥」を使用して直接ネットワークのパスを指定するときは、「¥¥ プリントサーバ名（プリントサーバのコンピュータ名）¥ プリンタ名」で正しく指定します。
	プリントサーバへのネットワークのパスが変更された	ネットワーク管理者へお問い合わせください。

プリンタとコンピュータをLANケーブルで接続している場合

オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとコンピュータを LAN ケーブルで接続している場合で、印刷するデータがプリンタに送られず、印刷できないときは、次のことが考えられます。適切な処置を行ってください。

症状	原因	処置
プリンタの電源が入っていない	電源プラグが電源コンセントから抜けている	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	延長コードを使用したりタコ足配線をしている	壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。
	ブレーカが落ちている	配電盤のブレーカをオンにします。
	電源コード内部で断線している	同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上交換してください。
LAN ケーブルが正しく接続されていない	LAN ケーブルが外れている	プリンタとコンピュータが LAN ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。
ポートが合っていない	使用するポートが正しく選択されていない	以下の操作を行ってください。 1. ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。 · Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。 · Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。 · Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。 2. 本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。 3. ［ポート］ページ（Windows98/Me は［詳細］ページ）を表示して、使用するポートが正しく選択されているか確認します。 正しいポートが選択されていない場合は、正しいポートを選択して、［OK］をクリックします。 使用するポートがない場合は、プリンタドライバをアンインストールして、もう一度インストールしなおしてください。（→ネットワークガイド／本編「第 2 章 ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには」）
	IP アドレスを変更した	IP アドレスを変更した場合は、ポートを設定しなおしてください。（→ネットワークガイド／本編「第 5 章 付録」）

症状	原因	処置
IP アドレスが正しくない	IP アドレスが正しく設定されていない	IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。 確認方法として、以下の操作を行ってください。 1. コマンドプロンプト、またはMS-DOS プロンプトを起動します。 ・ Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を選択します。 ・ Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を選択します。 ・ Windows Me の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］→［アクセサリ］→［MS-DOS プロンプト］を選択します。 ・ Windows 98 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］→［MS-DOS プロンプト］を選択します。 2. 「ping <プリンタの IP アドレス>」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。 ・ 入力例：ping 192.168.0.215 3. IP アドレスが正しく設定されている場合は、以下のコマンド（信号を 4 回送り、4 回正常に通信できたことを表しています）が入力されます。 ・ Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), 以下のようなコマンドが入力された場合は、ネットワーク管理者へお問い合わせください。 ・ Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss), 4. 「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。
		DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、DHCP、BOOTP、RARPが動作していることを確認してください（→ネットワークガイド／本編「第２章 ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには」）

その他のトラブル

Point

Macintosh をお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、オンラインマニュアル「第 6 章 困ったときには」を参照してください。

症状	原因	処置
LBP5100 が正常に動作しない	LBP5100 が通常使うプリンタとして設定されていない	通常使うプリンタとして設定してください。
	CAPT ソフトウェアが正常にインストールされていない可能性がある	CAPT ソフトウェアが正常にインストールされているかどうかを確認するために、アプリケーションソフトから印刷してみてください。正常に印刷されない場合には、CAPT ソフトウェアをアンインストールし、もう一度インストールしなおしてください。(→ユーザーズガイド「第 4 章 Windows の印刷環境を設定するには」)
印刷中にプリンタが一時的に停止する	幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えて印刷した場合、印字品質を保つため、定着器の冷却を行っている	そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。 定着器の冷却が終わると、機械の駆動が止まり、印刷可能状態になります。印刷中の場合は、冷却が終わると印刷を再開します。
CD-ROM Setupが自動的に表示されない(Windows 98/Me のみ)	[挿入の自動通知] が選択されていない	[デバイスマネージャー] から CD-ROM ドライブのプロパティを表示し、[設定] ページの [挿入の自動通知] を選択してください。
コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウでステータスの取得に時間がかかる(Windows のみ)	Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOSのコンピュータをプリントサーバとして使用している場合に、クライアント側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている	プリントサーバを起動して、クライアント側との通信に対する Windowsファイアウォールのブロックを解除してください。(→ユーザーズガイド「第 9 章 付録」)
コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されない(Windows のみ)	Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOSのコンピュータをクライアントとして使用している場合に、プリントサーバ側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている	サーバ側との通信に対する Windowsファイアウォールのブロックを解除してください。(→ユーザーズガイド「第 9 章 付録」)

症状	原因	処置
ネットワークから印刷できない（1）	ネットワークボードとケーブルが、正しく接続されていない	次のことを確認したあと、プリンタの電源を入れなおしてください。 ・ ネットワークボードが、正しく取り付けられていることを確認します。 ・ プリンタがネットワークに、正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。
	ネットワークが、正しく設定されていない	IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。 確認方法として、以下の操作を行ってください。 1. コマンドプロンプト、またはMS-DOS プロンプトを起動します。 ・ Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。 ・ Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。 ・ Windows Me の場合は、[スタート] メニューから [プログラム] → [アクセサリ] → [MS-DOS プロンプト] を選択します。 ・ Windows 98 の場合は、[スタート] メニューから [プログラム] → [MS-DOS プロンプト] を選択します。 2. 「ping <プリンタの IP アドレス>」を入力して、キーボードの [ENTER] キーを押します。 ・ 入力例：ping 192.168.0.215 3. IP アドレスが正しく設定されている場合は、以下のコマンド（信号を 4 回送り、4 回正常に通信できたことを表しています）が入力されます。 ・ Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), 以下のようなコマンドが入力された場合は、ネットワーク管理者へお問い合わせください。 ・ Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss), 4. 「exit」を入力して、キーボードの [ENTER] キーを押します。
		DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、DHCP、BOOTP、RARP が動作していることを確認してください（→ネットワークガイド／本編「第2章 ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには」）
	ポートが、正しく設定されていない	プリンタドライバをインストールしたあとに IP アドレスを変更した場合などは、ポートを設定しなおします。（→ネットワークガイド／本編「第5章 付録」） また、[プリンタの追加ウィザード] でプリンタドライバをインストールする場合やプリンタに付属の CD-ROM（CD-ROM Setup）を使って、ポートを手動で設定してプリンタドライバをインストールする場合に、ポートを Canon CAPT Port に設定するときは、インストールする前に必ず Canon CAPT Print Monitor をインストールしたあと、プリンタドライバをインストールしてください。（→ネットワークガイド／本編「第 2 章 ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには」）
		Windows XP Service Pack 2などの Windows ファイアウォール機能を持っているOS を使用している場合に、ポートを Canon CAPT Port に設定しているときは、Canon CAPT Print Monitor に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除されていることを確認してください。 確認方法として、以下の操作を行ってください。 1. [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] → [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。 2. [Windows ファイアウォール] ダイアログボックスの [例外] ページで、[Canon CAPT Port] のチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認します。チェックマークが付いていない場合は、チェックマークを付けてください。

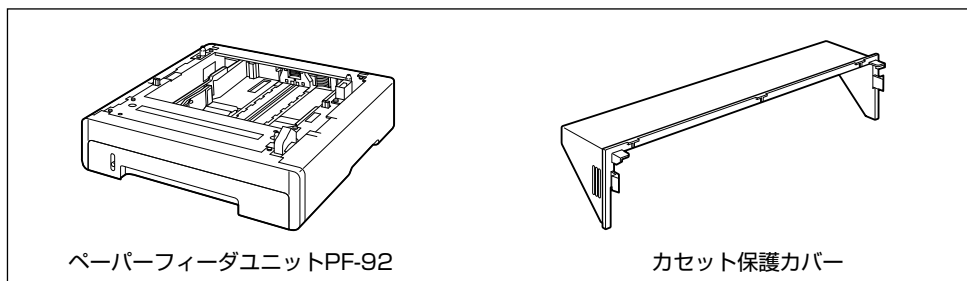
症状	原因	処置
ネットワークから印刷できない（2）	印刷を行うコンピュータの設定が正しくされていない	次のことを確認してください。 ・ プリンタが通常使うプリンタとして設定されているか確認してください。 ・ プリンタドライバが正常にインストールされているかどうかを確認してください。正常にインストールされているかどうかを確認するために、ネットワークステータスプリントを印刷してみてください。正常に印刷されない場合は、プリンタドライバをアンインストールし、もう一度インストールしなおしてください。（→ネットワークガイド／本編「第 2 章 ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには」） ・ TCP/IP プロトコルが動作しているか確認してください。
	印刷データを送信するコンピュータの IP アドレスが、［IP アドレス範囲設定］の［TCP/IP印刷を制限する］で制限されている	［IP アドレス範囲設定］の［TCP/IP 印刷を制限する］の設定内容を確認してください。（→ネットワークガイド／本編「第 3 章 ネットワーク環境でプリンタを管理するには」）
	ユニキャスト通信モードになっている	通常のモード（ブロードキャス通信モード）に戻します。詳しくは、「ユニキャスト通信モードを使用する」（→ネットワークガイド／本編「第 5 章 付録」）を参照するか、ネットワーク管理者へお問い合わせください。
ネットワークボードのランプがすべて消灯している	LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している	LAN ケーブルを一度取り外し、接続しなおします。
		他の LAN ケーブルに交換し、接続しなおします。
	ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している	ハブの“X”マークのあるポートに接続しなおします。
		ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。
	クロスタイプの LAN ケーブルを使っている	ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。
		クロスタイプの LAN ケーブルをハブのUP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は“=”側にします。
	ハブと通信できない	ハブの電源がオンになっていることを確認します。
		接続したハブの通信速度に合わせてプリンタのネットワークボードのディップスイッチを設定します。（→ネットワークガイド／本編「第 5 章 付録」）
		ハブを交換します。
	ネットワークボードが正しく取り付けられていない	ネットワークボードを一度取り外し、取り付けなおします。
	ネットワークボードのハードウェアに異常がある	お買い求めの販売店に状況を連絡してください。
ネットワークボードの ERR ランプが点灯している	LAN ケーブルの接続不良や断線、あるいはネットワークボードが正しく取り付けられていない	LAN ケーブルが正しく取り付けられているか確認してください。
		LAN ケーブルを正常に使えるものと交換し、断線や破損がないか確認してください。
		上記の操作を行っても ERR ランプが点灯するときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
ネットワークボードの ERR ランプが 4 回ずつ点滅している	ネットワークボードのディップスイッチ1がオンになっている	一度ディップスイッチ 1 をオフにしてください。（→ネットワークガイド／本編「第 5 章 付録」）
ネットワークボードの ERR ランプが点滅し続けている	ネットワークボードのハードウェアに異常がある	お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。
Canon CAPT Print Monitor をアンインストールできない	プリンタドライバをアンインストールしていない	プリンタドライバがインストールされている状態で、Canon CAPT Print Monitor をアンインストールすることはできません。Canon CAPT Print Monitor をアンインストールする場合は、プリンタドライバをアンインストールしてから行ってください。（→ネットワークガイド／本編「第 2 章 ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには」）
	Canon CAPT Port にプリンタが割り当てられている	［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示して、［ポート］ページ（Windows 98/Me の場合は［詳細］ページ）で、Canon CAPT Port 以外のポートに設定してください。

症状	原因	処置
突然ネットワークから印刷できなくなった	DHCP などの環境でプリンタを使用しているときに、プリンタの電源をオン／オフした	DHCP などの環境でプリンタを使用する場合は、プリンタの起動時に、常に同じ IP アドレスがプリンタに割り当てられるようにDHCP などを設定します。

オプションの設置

Chapter

ペーパーフィーダ

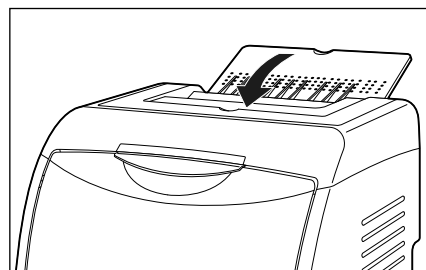
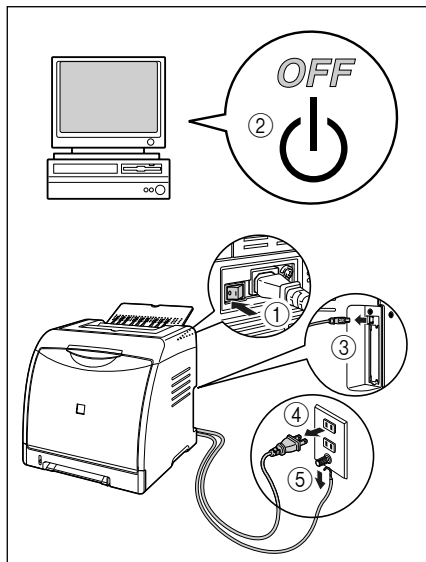
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けて使用します。

プリンタ本体を移動する

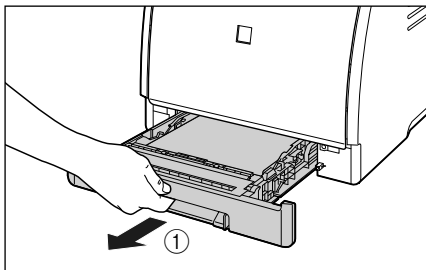
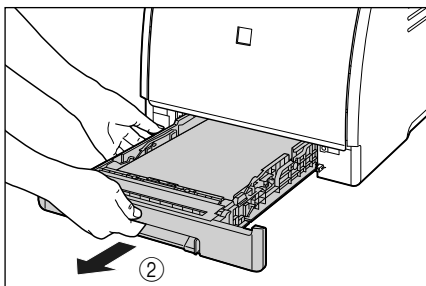
プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

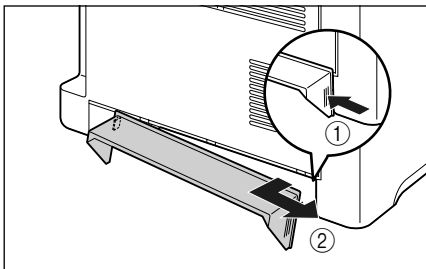
1 次の操作を行います。

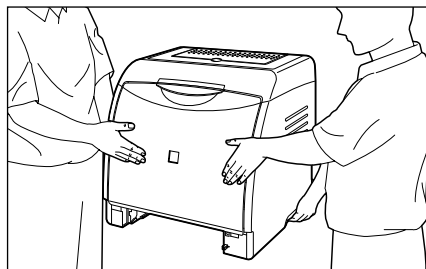
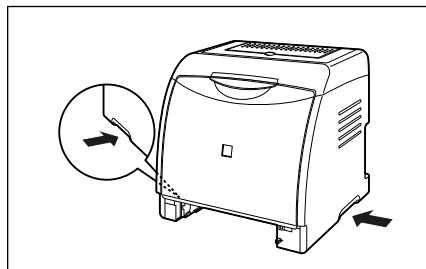
プリンタの電源をオフにします①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにして②、USB ケーブルを抜きます③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します⑤。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 排紙トレイを閉めます。

4 給紙カセットを引き出します。

給紙カセットをゆっくりと引き出します①。

図のように両手で持って、プリンタ本体から取り外します②。

5 カセット保護カバーを取り外します。

カセット保護カバーの右側面を押しながら①、取り外します②。

6 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手の中央部に 2 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

梱包材を取り外し、ペーパーフィーダを取り付ける

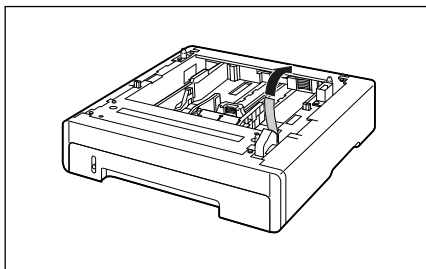
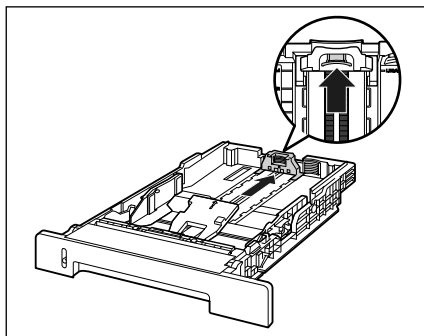
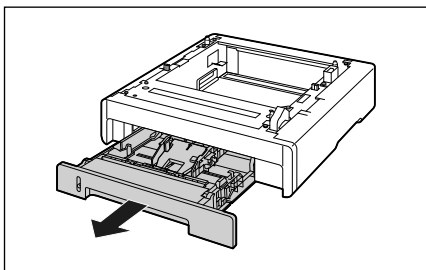
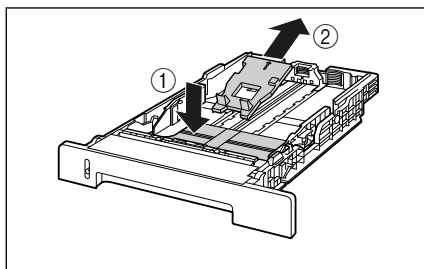
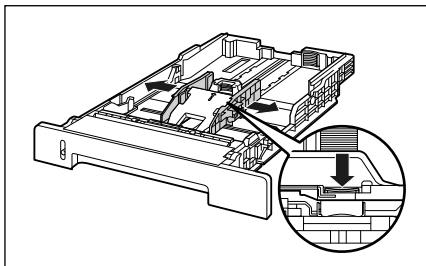
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けます。

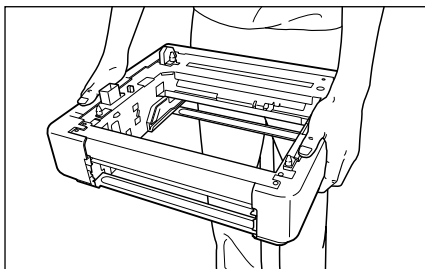
* 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

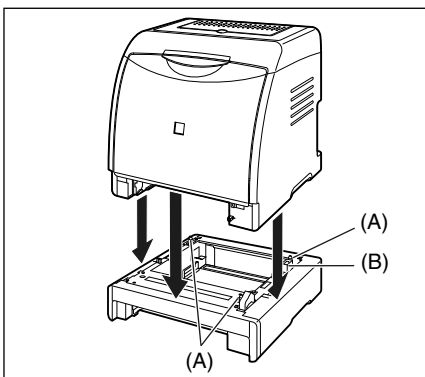
1 コネクタを止めているテープを取り外します。

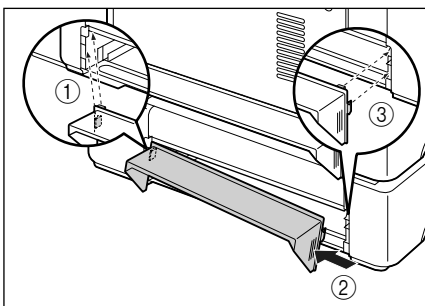
2 給紙カセットを引き出します。

3 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

4 後端の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを移動します。

5 プレートを押さえながら①、梱包材を取り外します②。

6 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。

7 プリンタ本体をペーパーフィーダの両側面や前面に合わせてゆっくりと載せます。

プリンタ本体を載せるときは、位置決めピン（A）やコネクタ（B）も合わせてください。

8 カセット保護カバーをプリンタ本体、ペーパーフィーダに取り付けます。

図のようにカセット保護カバーの左側を取り付け①、右側面を押しながら②、背面に差し込みます③。

9 給紙カセットをプリンタ本体、ペーパーフィーダにセットします。

10 排紙トレイを開けます。

11 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

12 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

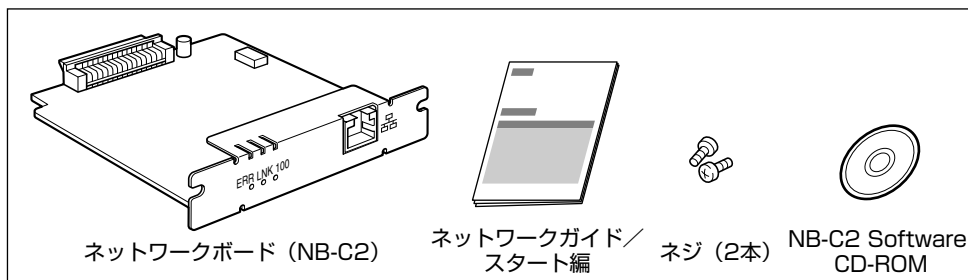
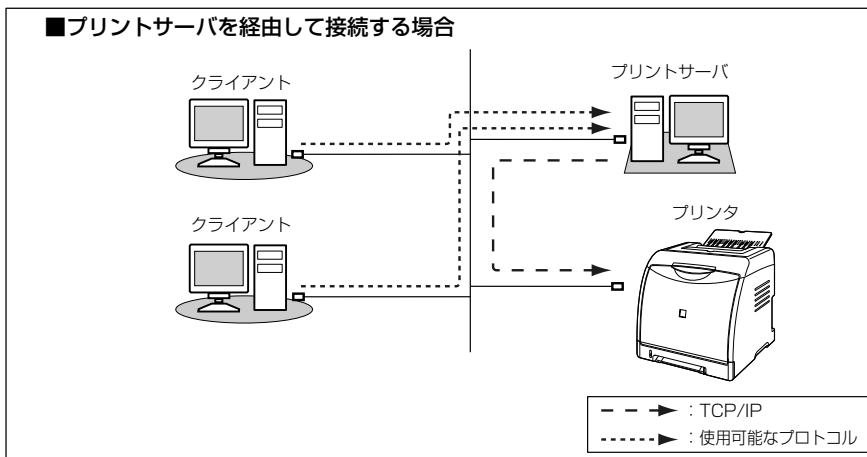
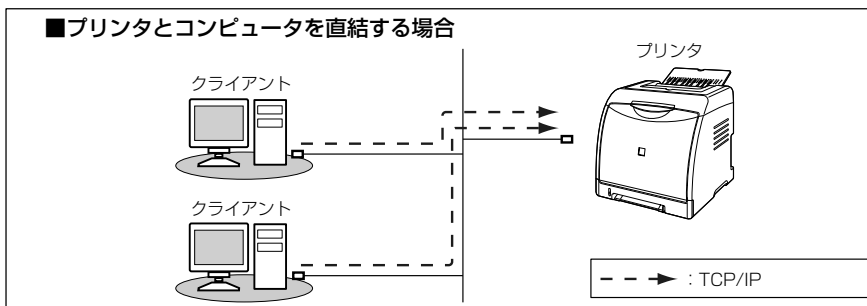
13 USB ケーブルを接続します。

Point

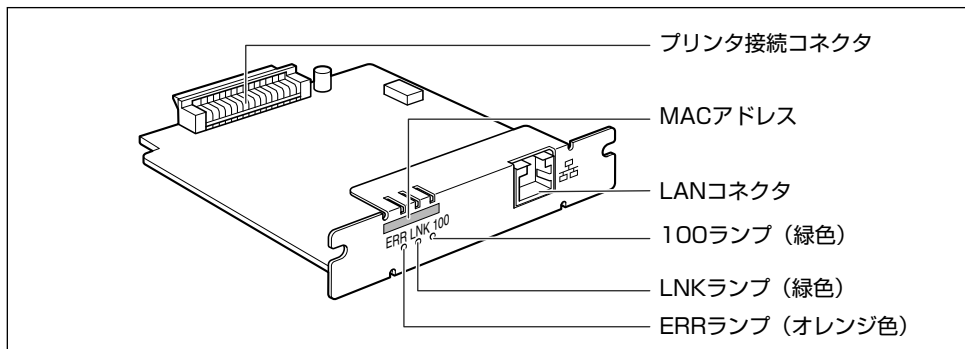
ペーパーフィーダを装着した後は、オプション機器の設定が必要になります。オプション機器の設定は、以下の操作で行います。

- Windows の場合：
  ［デバイス設定］ページの［デバイス情報取得］をクリックします。
- Macintosh の場合：
  1. お使いのハードディスク→［アプリケーション］→［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックして、［プリンタリスト］ダイアログを表示します。
  2. お使いのプリンタを選択し［情報を見る］アイコンをクリックして、［プリンタ情報］ダイアログを表示します。
  3. プルダウンメニューから［インストール可能なオプション］を選択します。
  4. ［給紙オプション］から装着したオプションを選択します。

ネットワークボード

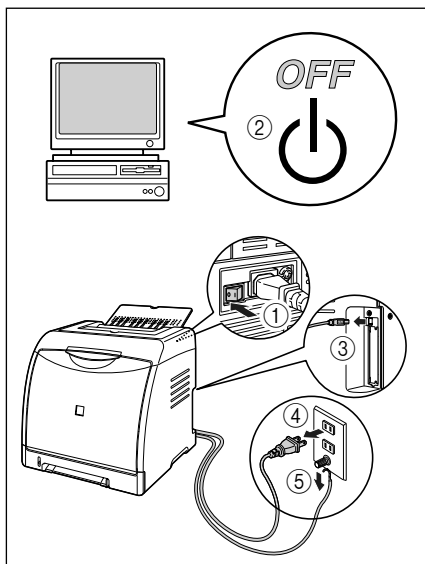
ネットワークボードは、プリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。

オプションのネットワークボードを装着すると、LBP5100 をネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。

* プリントサーバを経由して接続する場合は、本プリンタに直接接続されていない他のコンピュータからも印刷できます。
プリントサーバを経由して接続する場合は、次の設定を行う必要があります。

1. プリントサーバへプリンタドライバをインストールする→ ネットワークガイド／本編
2. プリントサーバの設定→ユーザーズガイド
3. クライアントへのインストール→ ユーザーズガイド

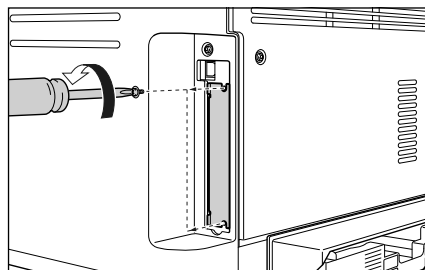
各部の名称と機能

ネットワークボードを取り付ける

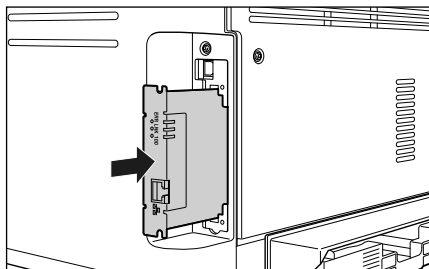
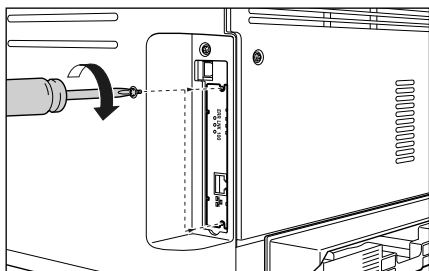
ネットワークボードは、次の手順でプリンタ本体の拡張ボードスロットに取り付けます。ネットワークボードの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

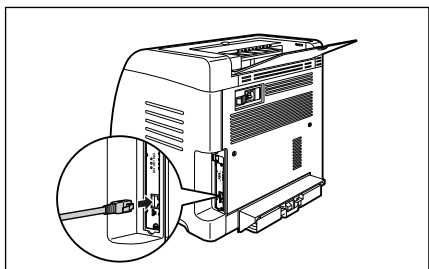
1 次の操作を行います。

プリンタの電源をオフにします①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにして②、USB ケーブルを抜きます③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します⑤。

2 電源コード、アース線を取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

3 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

4 ネットワークボードを拡張ボードスロットに図の向きで差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに差し込みます。

5 ネットワークボードの上下を、付属の 2 本のネジで固定します。

6 LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、ネットワークボードの LAN コネクタに対応したLAN ケーブルを接続してください。

7 電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

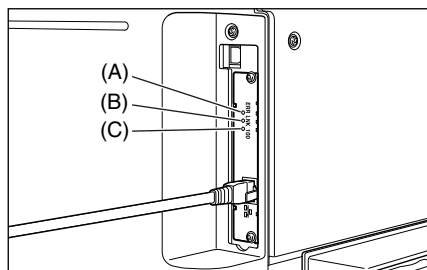
9 USB経由でも印刷する場合は、USBケーブルを接続します。

10 電源スイッチの"|"側を押して、プリンタの電源をオンにします。

11 ネットワークボードの LNK ランプ(緑)が点灯していることを確認します。

10BASE-T の場合は、LNK ランプが点灯していれば正常です。

100BASE-TXの場合は、LNK ランプと 100 ランプが点灯していれば正常です。

((A):ERR ランプ (B):LNK ランプ (C):100 ランプ)

● 正常に動作していない場合
プリンタの電源をオフにし、LAN ケーブルの接続やハブの動作、ネットワークボードの取り付け状態を確認してください。

お役立ち情報

Chapter

5

Macintosh をお使いのお客様へ

Macintosh 用のプリンタドライバの使いかたについては、「オンラインマニュアル」を参照してください。

「オンラインマニュアル」は、付属の CD-ROM 内（または、キヤノンホームページからダウンロードしたファイル内）の［CAPT］-［Japanese］-［Documents］フォルダに［GUIDE-CAPT-x.xxJP.pdf］* というファイル名で収められています。Macintosh をお使いのお客様は、「オンラインマニュアル」をよくお読みのうえ、プリンタの機能を十分に活用してください。

*「x.xx」はお使いのプリンタドライバのバージョンによって異なります。

Point

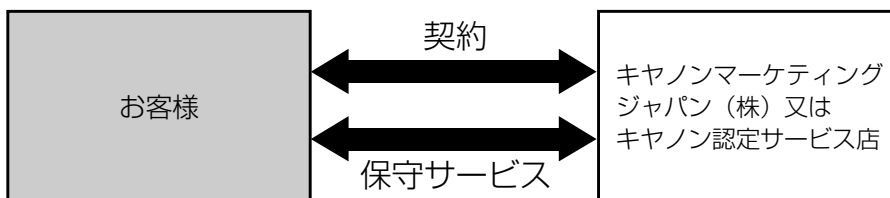
付属の CD-ROM によっては、Macintosh 用のプリンタドライバやオンラインマニュアルが同梱されていない場合があります。付属の CD-ROM に、Macintosh 用のプリンタドライバやオンラインマニュアルが同梱されていない場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードしてください。

保守サービスのご案内

●ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

キヤノン保守契約制度のメリット

●都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。

万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

●保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

●簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

●電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

●固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

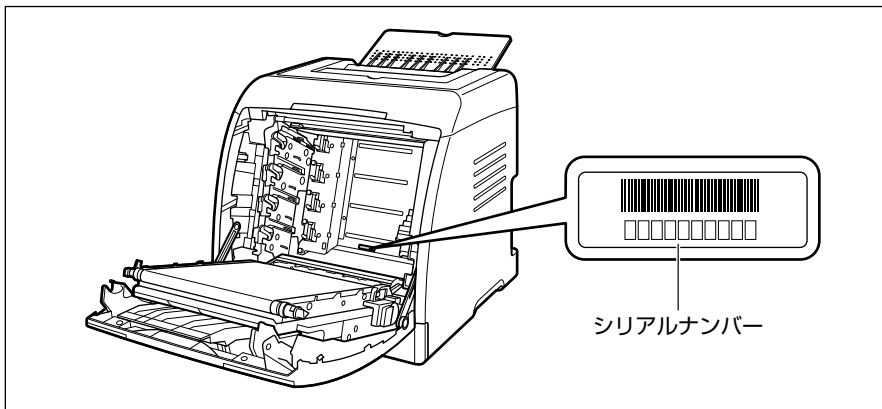
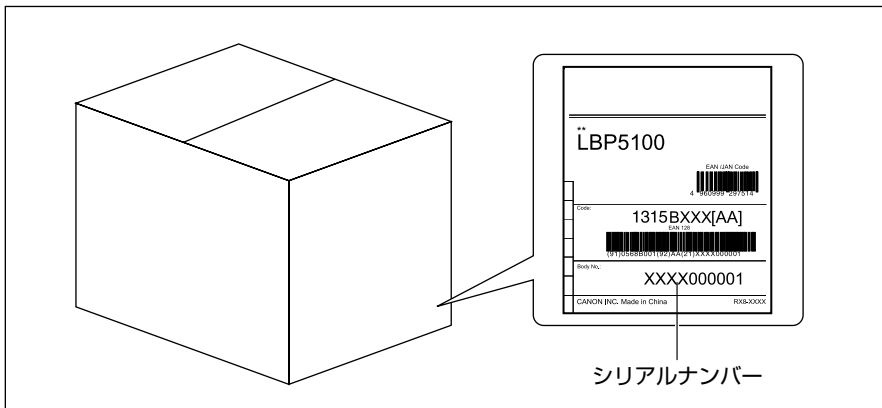
本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。
本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

●本体内部

●梱包箱外側

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

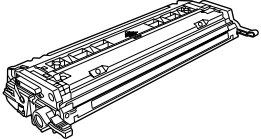
インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

●キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品

本プリンタでは、消耗品として以下のものが用意されています。消耗品は、本プリンタをお買い求めの販売店などでお買い求めください。

消耗品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境や印刷する用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

消耗品	交換の目安	用途
トナーカートリッジ	ブラック（Cartridge 307 Black）： 約 2,500ページ イエロー（Cartridge 307 Yellow）： 約 2,000ページ マゼンタ（Cartridge 307 Magenta）： 約 2,000ページ シアン（Cartridge 307 Cyan）： 約 2,000ページ	印刷するデータを現像して転写するための部品です。（→トナーカートリッジを交換する：P.2-24）

設置場所について

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

- 周囲温度：10 ～ 30 ℃
- 周囲湿度：10 ～ 80%RH（結露のないこと）

●超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

本プリンタの最大消費電力は 640W 以下です（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz）。電気的なノイズや許容範囲を超える電源電圧の降下は、本プリンタだけでなく、コンピュータ本体の誤作動やデータ消失の原因になることがあります。

電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 15A 以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。
- アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

設置条件

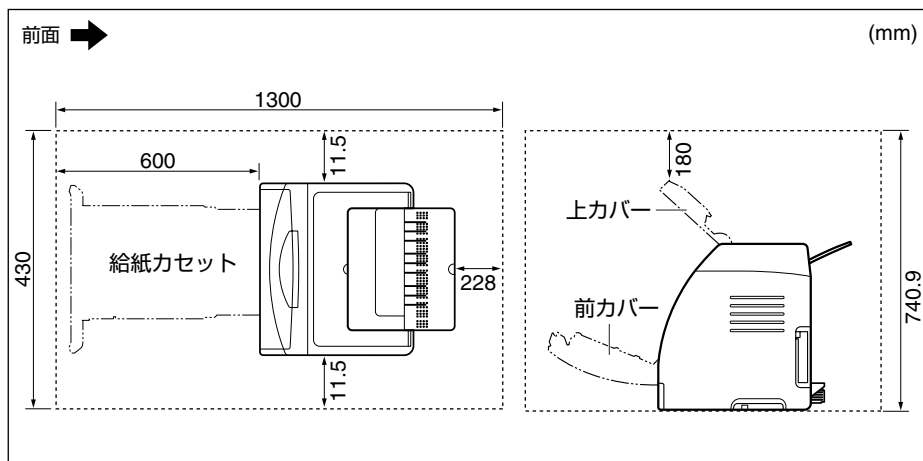
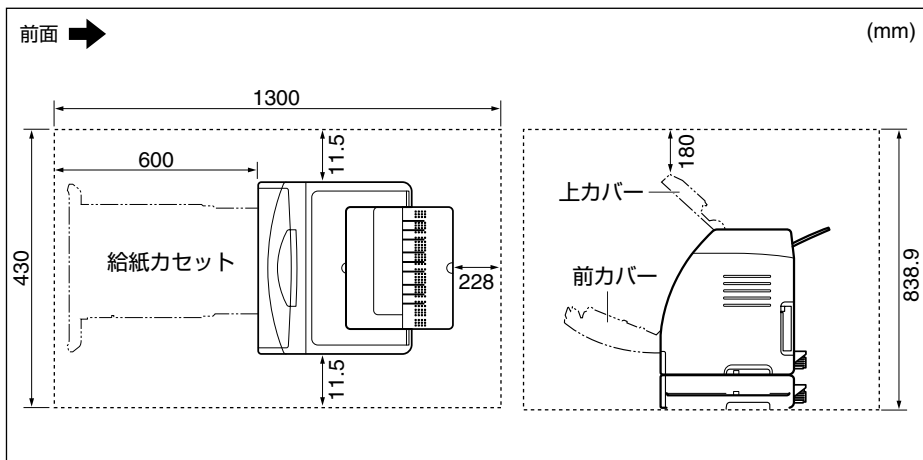
本プリンタは、次のような場所に設置してください。

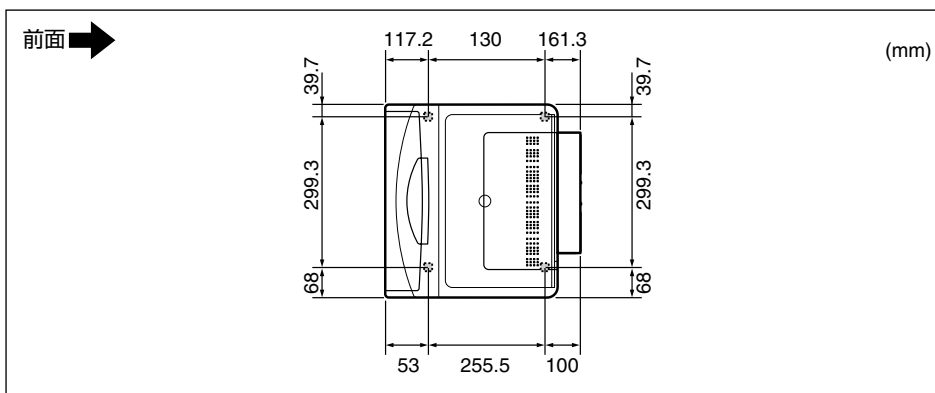
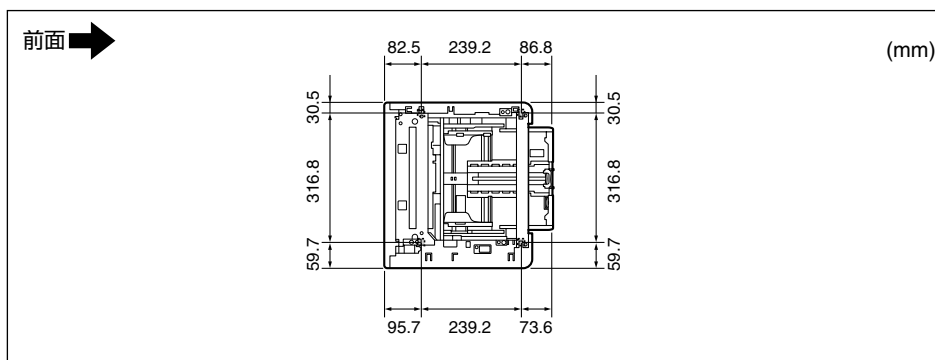
- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

設置スペース

本プリンタの周囲には、次のような空間を確保し、本プリンタの質量に耐えられる場所を選んで設置してください。周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

周囲に必要なスペース

●標準状態

●ペーパーフィーダ装着状態

足の位置

●プリンタ本体

●ペーパーフィーダユニット PF-92

●●● サテラ　ご購入者アンケートご協力のお願い ●●●

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
本プリンタに付属の User Software CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）　商品名称　本体機番

商品名称	本体機番
LBP5100	LTFA000001

（保証シートおよび前カバー内側、梱包箱外側に記載されています。）

お問い合わせ先について

プリンタドライバのバージョンアップやプリンタが故障したときなど、何らかのお問い合わせが必要になったときは、目的に応じて以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

お買い上げいただいた販売店

・消耗品やオプション品のご購入について
・故障時の修理について

キヤノンホームページ

・プリンタドライバのバージョンアップ情報およびダウンロード
・トラブル発生時の解決方法
・商品のご紹介や各種イベント情報など

http://canon.jp/

お客様相談センター

・技術的なご質問や本プリンタの取り扱い方法について
・消耗品やオプション品をご購入する際に不明な点がある場合
・故障時の修理について不明な点がある場合

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］ <平日>9:00～20:00 <土日祝日>10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

PRINTED IN JAPAN OR CHINA